燕　市

平成25年度 燕市海外派遣事業

報　告　書

We love America!

― 12日間のホームステイ体験記 ―

海外派遣事業ダンディ村親善大使

Jack&Betty プロジェクト海外派遣事業サンフランシスコ親善大使

表紙写真説明
　上左：ホストステューデントと親善大使
　上右：ダンディ到着後の親善大使。ホストファミリーと共に
　下左：サンフランシスコ日本国総領事館にて総領事と副総領事と共に
　下右：出発前燕三条駅にてJack&Bettyのパネルと記念撮影

平成25年度燕市国際交流事業報告書　目次

はじめに　燕市長　鈴木　力 …… 2

ごあいさつ　燕市教育長　上原　洋一 …… 3

【姉妹都市交流】ダンディ親善大使体験報告目次 …… 4

【姉妹都市交流】ダンディ日程 …… 5

【姉妹都市交流】ダンディ親善大使体験報告 …… 6

【姉妹都市交流】ダンディ親善大使アンケート集計結果 …… 14

「広報つばめ平成25年9月15日号」で紹介したダンディ親善大使の記事 …… 16

【姉妹都市交流】ダンディ随行職員のコメント …… 17

【Jack&Bettyプロジェクト】サンフランシスコ親善大使体験報告目次 …… 18

【Jack&Bettyプロジェクト】サンフランシスコ日程 …… 19

【Jack&Bettyプロジェクト】サンフランシスコ親善大使体験報告 …… 20

【Jack&Bettyプロジェクト】サンフランシスコ親善大使体験報告(英文) …… 44

【Jack&Bettyプロジェクト】サンフランシスコ親善大使アンケート集計結果 …… 49

「広報つばめ平成26年4月15日号」で紹介予定のサンフランシスコ親善大使の記事 …… 54

【Jack&Bettyプロジェクト】サンフランシスコ随行職員のコメント …… 56

はじめに

燕市長　**鈴木　力**

燕市の国際交流事業では、姉妹都市提携を結ぶアメリカ合衆国ミシガン州ダンディ村の生徒の親善交流を行っています。平成25年は、燕市から生徒4人をダンディ村へ派遣しました。

また、初の試みとしてJack & Bettyプロジェクトの一環である英語スピーチコンテストを実施し、優秀な成績を収めた子どもたち12名を燕市親善大使としてアメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコ市へ派遣いたしました。

ダンディ村への親善大使とサンフランシスコ市への親善大使は、現地でホームステイをしながらアメリカの生活や文化を学び、アメリカの人々へ日本の文化を伝えたり燕市のＰＲを行ったりしました。親善大使たちの奮闘ぶりは体験報告からうかがい知ることができます。言葉や文化の違いなどに戸惑いながらも難しいことを乗り越えたという自信を、将来の人生の中で活かしていただきたいです。

ますますグローバル化する中で、燕市もさらに発展することが求められます。「ジャックアンドベティ物語」という小説は、燕市の洋食器産業が発展し米国へ洋食器を輸出していく時代背景で、若者が英語を勉強しながら世界へ羽ばたいていくというものでした。その物語のように、国際交流事業を通じて市民のみなさんの国際理解が深まり、国際感覚が磨かれ、子どもたちが将来の燕市のリーダーとして、その発展を支える活躍をしてくれることを願っています。

Jack & Bettyプロジェクトの海外派遣費には「燕子ども夢基金」から経費の一部を活用しています。この基金にご協力いただいている「燕子ども応援☀おひさまプロジェクト」の事業者の方々には心から感謝申し上げます。

これからも未来を担う子どもたちの育成に力を注いでまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ごあいさつ

燕市教育長　**上原洋一**

平成25年度から始まったJack & Bettyプロジェクトは、燕市の子どもたちの英語力の向上はもちろんのこと、国際感覚の醸成や世界の中の燕を知ることで郷土愛を育むことも視野に入れています。

今回ダンディ村とサンフランシスコ市に派遣した中学生たちは、派遣前に燕市を英語でＰＲするための準備をし、英語でのコミュニケーション方法を学習しました。初めてのことで難しかったはずですが、親善大使のみなさんが前向きに学び、現地での様々な活動を通じて成長してきたことが報告書を読んでいただくと分かると思います。

それぞれの海外派遣の出発式で見た親善大使の目の輝きが、帰国報告会では自信に満ち、希望に溢れていたのを見てとても頼もしく感じました。

親善大使として派遣された皆さんはこの貴重な経験を生かして、今後も海外派遣事業やJack & Bettyプロジェクトなどに関わってもらいながら、どこで何を学んだのか、誰と交流して何を得たかなどを話していただければと思います。それは、これから皆さんに続こうと頑張る後輩たちのためになることでしょう。

目標を高く持ち努力をこつこつ続ければ必ず新しい世界に広がるということを信じて、これからも燕市の代表であったことを忘れずに前へ進んで行ってくれることを期待しています。そして、アメリカで学んだことや経験を生かして、学校や地域でリーダーとして活躍してもらいたいです。

最後になりますが、海外派遣事業にご理解ご協力をいただいた皆様、大切なお子さんを海外に送り出してくださった保護者の皆様に心から感謝申し上げます。

【姉妹都市】ダンディ親善大使体験報告目次

【姉妹都市交流】ダンディ日程 …… 5

【姉妹都市交流】ダンディ親善大使体験報告

感謝・感動・感激 …… 燕市立分水中学校３年　伊藤菜々子 …… 6

外国での出来事とこれから …… 燕市立燕中学校３年　池 田 修 斗 …… 8

成長 …… 燕市立吉田中学校３年　佐 藤 愉 生 …… 10

アメリカでの出来事 …… 県立燕中等教育学校２年　伊 藤 海 人 …… 12

【姉妹都市交流】ダンディ親善大使アンケート集計結果 …… 14

「広報つばめ9月15日号」で紹介したダンディ親善大使の記事 …… 16

随行職員のコメント …… 17

平成 25 年度海外派遣事業（アメリカ合衆国・ダンディ）日程

月　日	内　　容
平成25年 7月29日（月）	８：35　燕三条駅出発 14：50　成田空港発（DL276）→（機中泊） ――――日付変更線通過―――― 12：25　デトロイト着→ダンディ村へ向けて出発 夕刻：ダンディ高校で歓迎会→ホストファミリーと対面各家庭へ （ホームステイ）
7月30日（火）	村役場を訪問、市長と対面 ダンディ地区の学校「カベラ」訪問、消防署訪問 ﾓﾝﾛｰ・ｶｳﾝﾃｨ・ﾌｪｱ見学、ﾃﾞﾓﾘｼｮﾝ・ﾀﾞｰﾋﾞｰ見学　（ホームステイ）
7月31日（水）	デトロイト市へ…ルネサンス・センター（GM本社ビル）訪問 デトロイト市内見学 野球観戦（ﾃﾞﾄﾛｲﾄ・ﾀｲｶﾞｰｽ対ﾜｼﾝﾄﾝ・ﾅｼｮﾅﾙｽﾞ）　（ホームステイ）
8月1日（木）	アナーバー市へ…ミシガン大学見学 夕刻：ダンディ高校で燕市PRと日本食のサービス　（ホームステイ）
8月2日（金）	ダンディ村の旧製粉所、モンロー郡レイジン川戦場見学 モンロー歴史博物館見学　（ホームステイ）
8月3日（土）	ホストファミリーと過ごす　（ホームステイ）
8月4日（日）	ホストファミリーと過ごす　（ホームステイ）
8月5日（月）	オハイオ州シダー・ポイント遊園地訪問　（ホームステイ）
8月6日（火）	オハイオ州トレド市内の動物園見学　（ホームステイ）
8月7日（水）	オハイオ州トレド市内ウエスト・フィールド・モールで視察 夕刻：スカボヌー邸でお別れパーティー　（ホームステイ）

ダンディ村警察と庁舎

感謝・感動・感激

燕市立分水中学校　3年
伊藤菜々子

小学校の頃から、海外に強い関心をもっていた私。「いつか私もあの地に行ってみたい」と思い数年。

そして、私は今年、念願だった海外に行くことができました。

7月29日、私は飛行機の中にいました。前日と同様に、とてつもない興奮と楽しさで胸がいっぱいで機内では眠れませんでした。

デトロイト空港に到着し、初めてアメリカに足を踏み入れたときは、とても感激したことを今でも覚えています。聞こえるのは全て英語でした。ここはアメリカなのだと実感したときには、とても感動しました。「ついにアメリカに来たのだ」と。

その後の歓迎会で、ホストファミリーと対面しました。両親、姉のローズ、妹のノエルが笑顔で私を迎えてくれました。また、普段は別居している彼女たちの祖父母も来てくれました。あまりの緊張で固まっていた私に、彼らは優しく話しかけてくれました。そのおかげで緊張が解けて、これからの生活がますます楽しみになりました。家に着いてから最初に見付けたのは、漢字で書かれた「菜々子歓迎」という紙でした。書き慣れない漢字を大きな紙に書いて貼ってくれました。私は、あまりの嬉しさに言葉を失いながらも、歓迎されているのだと改めて感じました。

私は、ホストファミリーと一生忘れることのできない思い出を作ることができました。料理をしたこと、買物に行ったこと、一緒に遊んだこと・・・。何もかもが、かけがえのない思い出です。一緒に作ったピンク色のカップケーキには驚きました。味見をさせてくれましたが、食べるのに勇気がいりました。しかし、とてもおいしかったので、ローズに「Good？」と尋ねられて、「Very good!」と答えたら、彼女はとても嬉しそうにしていました。こうして会話を交わすうちに、自然に距離が縮まり、絆が強くなりました。

お別れの日には、今まで一緒だった掘るとファミリーに会えなくなると思うと、つらくて涙が止まりませんでした。

最後に、お世話になったダンディの皆さん、このような機会を与えてくださった関係者の方々、そして両親にとても感謝しています。

Thank you so much.

写真上：ホストファミリーとダンディのクリスマスストアにて
写真左：ホストファミリーとアウトドア村にて

目標の達成と自己評価など

1　国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標を決めましょう。

目標①　積極的に英語で話しかけ、コミュニケーションをとり、悔いの残らないホームステイにする。

目標②　日本の文化を伝えると同時に、アメリカの文化にもたくさん触れ知識を深めてくる。

2　目標は達成できましたか？

目標①について　最初は、Yes・Noで答えるのに精一杯だったけれど、だんだん慣れてきたら、自分からも話しかけられるようになりました。でも「会話を続ける」ということができなかったので少し悔いが残ります。

目標②について　燕市の文化紹介のスピーチや、ホストファミリーとの会話の中で日本の文化を伝えられたと思います。また、アメリカでの生活を通して、日本の生活との違いをたくさん見つけ、アメリカの文化に触れられたと思います。

3　最も思い出に残ったことを書いてください。

ホストファミリーと過ごした休日です。私は、Shoppingに連れて行ってもらいました。日本にはないアメリカ独特の物がたくさんあって、ホストファミリーに「What's this?」と聞くと、私でも分かるように丁寧に分かりやすく教えてくれていうれしかったです。一緒に服を見てくれたりして、すごく楽しかったです。昼食はレストランでチキンを食べました。おじいちゃん、おばあちゃんも合流して一緒に食べました。すごく楽しくて最高の思い出になりました。

4　これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

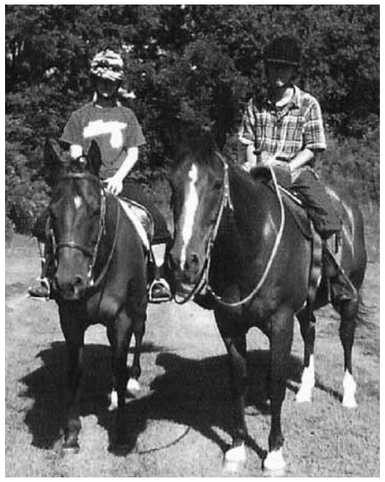
もっと英語をたくさん勉強して、上手になって、また何年後かに、お世話になったホストファミリーに会いに行きたいです。また、今回のホームステイを通して身につけた英語力を様々な場面に生かしていきたいです。

5　海外派遣を希望する人へのアドバイスを書いてください。

最後には、必ず『行って良かった』と思えます。
Thank you や Hello、Please など、基本的な英語を大切にして下さい。
あとは、やっぱり笑顔で接することが一番だと思います。

外国での出来事とこれから

燕市立燕中学校　3年
池　田　修　斗



僕がこの海外派遣事業に参加した理由は、外国の様子を知り、その国の文化や言葉を学び、自分自身の英会話能力を向上させるためでした。

僕は、出発日までに洋楽を聞いたり、英語のＣＤなどを聞いたりして、なるべく英語を聞き取れるように努力しました。

出発するときには、空港や飛行機など初めてのことばかりで、とても緊張しました。

初めて降り立ったアメリカの地は、やはりどこを見ても英語ばかりで、しばらくの間はどこに何があるのかを読み取るだけでも苦労しました。

ホストファミリーのシャボヌー家の皆さんはとても優しい人たちで、僕がお土産として渡したチタン製のコップや絵葉書をとても喜んでくれました。また、彼らからもお土産をたくさんもらい感動しました。いただいたバッグパックは、今でも大切に使っています。

ホストファミリーと過ごした日々でとても印象に残っているのが、現地のお祭りを彼らやその友人たちと楽しんだことです。また、ヘンリー・フォード博物館に連れて行ってもらったり、キャンプファイヤーをしたりしました。家でも、アメリカの遊びを教えてもらいました。特に、ヘンリー・フォード博物館には、自動車王ヘンリー・フォードが集めた様々な自動車が展示されている場所と有名人の家が復元されている場所があり、米国最大の歴史展示場として有名です。

また、その日の深夜には、地元のお祭りに参加した馬が戻って来ると聞いて、迎えに行きました。翌日には、その馬に乗せてもらいました。初めての乗馬でとても怖かったし、馬を走らせることはできませんでしたが、手綱を引いてもらい小走りすることができました。

この海外派遣で、もっと英語を勉強したいという気持ちになりました。将来は、通訳なしで外国旅行をしたいです。Thank you.

写真上：ホストファミリーの自宅でホストステューデントと乗馬
写真左：モンローカウンティ・フェアでホストファミリーの友人たちと

目標の達成と自己評価など

1　国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標を決めましょう。

目標①
海外の文化を実際に体験し、新しい文化を知ると共に日本文化と違いを知り、それを伝える。

目標②
外国人との交流を通して、将来の仕事や未来を自分にとって役に立つものを見つける。

2　目標は達成できましたか？

目標①について
ジェスチャーや写真などを使い、うまく伝えられるように努力した。おそらく伝わったと思う。

目標②について
外国人との会話を重ねることで、だんだん相手が何を伝えたいのか感覚でわかってきたと思う

3　最も思い出に残ったことを書いてください。

最も思い出に残ったことは、ホストファミリー達との見学や外出です。アメリカでは、少しの外出でも、自分にとって刺激的な毎日でした。そしてアメリカでの友人を多く持てたことです。

4　これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

これからはアメリカにもう一度行ったときなどのためにもっと英語を勉強しようと思います。

5　海外派遣を希望する人へのアドバイスを書いてください。

これから海外派遣を希望する人は、必ず自分にとって何かプラスになるのでぜひチャレンジしてみてください

成長

燕市立吉田中学校　3年
佐　藤　愉　生

私は、この夏絶対に忘れることのできない思い出を作ることができました。

7月29日、私は初めて日本の国外に出て、アメリカに向かいました。アメリカに到着するには、飛行機で約13時間かかります。飛行機に乗るのは初めてではありませんでしたが、こんなに長いフライトは初めてなので緊張しました。

ダンディ村に到着してから、ダンディ高校で歓迎会が開かれました。夕食会では、ビーフやポーク、フルーツなどのごちそうがありました。そこで、ホストファミリーと対面して、家に向かいました。

7月30日、私たちは「カベラ」という名前の、狩猟やキャンプ用品の専門店を訪問しました。そこには、猟銃だけを展示している場所がありました。私は、初めて本物の銃を見て手に取りました。猟銃は想像よりも重くて驚きました。

店内には、世界中の動物の剥製がたくさん展示されていました。実際に捕獲したものだけでなく、世界各地から寄贈されたものもありました。また、動物の毛皮に触ったり、魚のえさやりを体験して水族館を見学しました。

8月3日、4日の2日間、私はホストファミリーと一緒に過ごしました。正直言うと、この2日間が私にとって最も不安でした。それは、自分の気持ちや考えをうまく伝えられるかどうか不安だったからです。「伝わらなかったらどうしよう。」とか「完璧な英語を話さなければ行けない。」という気持ちが強く、会話をするのに遠慮してしまうことがありました。しかし、思い切って話してみたら、片言でも伝わって理解してもらうことができました。伝えられたときの喜びは、今でも忘れることができません。最初は、答えるときも「Yes」や「No」だけでしたが、次第に文で答えることができるようになりました。

私は、他にもたくさんの素晴らしい思い出を作ることができました。どれも、忘れることのできないものばかりです。そして、自分の成長を感じることもできました。この成長を支えてくださった現地の全ての方々に感謝したいです。

またいつか、海外に行く機会があるならば、積極的に参加したいです。また、この海外派遣で身に付けた語学力を、将来に生かしていきたいです。

写真上：ホストファミリーの別荘で魚釣り
写真左：ホストファミリーと一緒に

目標の達成と自己評価など

1　国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標を決めましょう。

目標①　自分の夢のため語学力の向上。たくさんの人たちとコミュニケーションをとり自分の語学力を高めたい。

目標②　日本の文化とアメリカの文化の違いを比較し、探すこと。主に生活の違いや食文化の違いを探したい。

2　目標は達成できましたか？

目標①について　初めは緊張しコミュニケーションをとるのは難しかったですが、だんだんと現地の方々と話すことができ自分の語学力の向上に繋げることができました。

目標②について　日本とアメリカの文化の違いはたくさんありました。特におどろいたのは、部屋のドアは開けっぱなしというところです。日本じゃありえないなと思いました。

3　最も思い出に残ったことを書いてください。

ホームステイ先の家族と一緒にすごした、2日間です。私たちはみんなで別荘に行きました。そこで、初めての魚つりをしました。大きい魚を3匹つることができました。また、アイスクリーム屋に行き、日本じゃみることのできないぐらいの大きさのアイスクリームを食べました。とても大きかったけどおいしかったです。

4　これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

また海外へ行けるように今よりもたくさん英語の勉強をしていきたいです。次、海外へ行く時は今よりも成長し、よりコミュニケーションをとりたいです。

5　海外派遣を希望する人へのアドバイスを書いてください。

怖がらずに積極的に話しかけてください。初めに緊張しうまく話せるか不安なところもありますが、話していくうちに自信がついていきます。

アメリカでの出来事

県立燕中等教育学校　2年
伊　藤　海　人

僕は、今年の夏にダンディ村に行きました。デトロイト空港までの長い空の旅を終えて、ようやく到着しました。空港には、ホストファミリーとダイヤモンド電子株式会社のバグナルさん、前年の夏に燕市訪問で我が家に滞在したオスト先生が迎えに来てくれました。そして、ダンディ高校で歓迎会がありました。

2日目は、町の中を観光しました。現地の狩猟用品専門店やモンロー・カウンティ・フェアでの廃車同士の衝突を見学して、その後はホストファミリーととても楽しい時間を過ごしました。

3日目は、デトロイト市へ行きました。当日の朝に、「私たちは、デトロイト・タイガースのファンだから」と言われ、球団の名前入りのTシャツをもらったので、それを着て出かけました。昼食には、厚切り食パンのような分厚いピザを食べました。タイガースの試合では、ナッツの甘い香りとファンの熱気に圧倒されました。試合では、タイガースが大差で勝ち、とても良かったです。

４日目は、シダーポイントという遊園地に行きました。エリー湖のほとりにあるので、ジェットコースターや観覧車からは、湖畔のビーチやきれいな湖が見えました。

5日目は、ダンディ村の歴史博物館や役場などを訪問しました。燕市と姉妹都市提携をしたときの文書や議場などを見せていただきました。昼食は、エリー湖の沿岸の港町でハンバーガーを食べました。

6, 7日目は、ホストファミリーと買物や教会に行ったり芝刈りをしたりして、とても楽しく過ごしました。

８日目は、午前中にミシガン大学を見学してから、ダンディ高校で日本食を作り、燕市をＰＲするプレゼンテーションを行いました。発表では、今まで練習した成果を出して燕市の特色を伝えることができました。

9日目は、動物園やプールに行ったあとで、高校の体育館でバスケットボールなどをして遊びました。

10日目は、ショッピングの日でした。買物をしてから、ホストファミリーに荷造りを手伝ってもらいました。夕方のお別れ会では、関係者の皆さんにお別れの挨拶をしました。

最終日は、帰る前に、ホストファミリーに自分の気持ちを伝えることができました。そして、たくさんのお土産を入れたスーツケースを持って日本に帰りました。

現地では、会った人たちとたくさんの良い思い出を作ることができました。Thank you!

写真上：ホストマザーとホストステューデントと一緒に
写真左：ダンディ村の議場で、役場職員の議席に座って

目標の達成と自己評価など

1　国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標を決めましょう。

目標① 僕は、アメリカの文化や言葉を感じとることです。ホームステイを通して、日本とアメリカの文化の違う生活をすることです。また、それを通して日常的に使われている英語を体験したいです。

目標② 燕市の文化、産業、魅力を伝えることです。燕市には素晴らしいものがたくさんあります。それを伝え、ダンディの人達に、燕市のよさを分かってもらうことと、ダンディ村を学び感じとって来たいです。

2　目標は達成できましたか？

目標①について アメリカでのホームステイは、日本の生活と大きく違う部分が、いくつもあり、とても充実した日々を送ることができました。ホストファミリーの人達ともたくさん会話できました。

目標②について プレゼンテーションのとき、多くの人達に燕市のことを知ってもらうことができました。また、たくさん見学地をまわりダンディ村のこともたくさん知ることができました。

3　最も思い出に残ったことを書いてください。

ホストファミリーの人達と家で話したり色々な見学地で色々なことを体験したのですが、なかでも、現地のお祭りに毎日のように行ったことがとてもよかったです。芋の様子を見たり屋台で夕飯を食べたり、ホストファミリーととても楽しい時間を過ごすことができました。

4　これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

四年生になったらオーストラリアへ行くので、それまでに、さらに英会話を上達させるため、ホストファミリーの人達と、メールのやりとりなどをしていきたいです。

5　海外派遣を希望する人へのアドバイスを書いてください。

Thank you や、I'm sorry. Nice to meet you などの常識的な英語は、常に忘れず、言えるようにしておくと、ホームステイがとても楽しいものになると思います。

燕市国際交流事業参加者アンケート

派遣先	学年	性別
アメリカ合衆国　ダンディ	中学３年生３人 中学２年生１人	男　２人 女　２人

Ｑ１　海外派遣はどうでしたか？

①よかった　４人

●その理由は？ (具体的に)	• 現地でのコミュニケーションを通して、プラスになる経験をしたから。 • かけがえのない素晴らしい体験をさせてもらったから。 • 現地の人たちがとても優しかったし、日本ではできないことを経験させてもらったから。 • とても良い経験で、将来につなげられるから。

Ｑ２　日程はどうでしたか？

①ややきつかった　１人　　③やや楽だった　３人

●体調や精神面で特につらいと感じたときはありましたか？あれば具体的に書いてください。(飛行機、英語、食事、日程など)	• 飛行機で酔ってしまった。（２人） • 気温の変化が大きくて、鼻水が出てしまう日がありました。 • 飛行機での長時間のフライトがきつかった。

Ｑ３　期間はどうでしたか？

①やや長かった　１人　②ちょうど良い　１人　③やや短かった　１人　④短かった　１人

Ｑ４　海外派遣の中で、良かった場所や活動は何ですか？「特に良かった」ことを◎に１つ、「良かった」ことを○に４つ以内で記入してください。また、「良くなかった」ことがあれば、△に３つ以内で記入してください。

◎
- ホストファミリーとの買物
- 遊園地（２人）
- 現地のお祭り

○
- 現地のお祭り
- 日本食レストラン
- 野球の試合
- 遊園地
- プレゼンテーション
- ミシガン大学（２人）
- 買物
- バーベキュー
- 博物館

Ｑ５　ホームステイで良かったことを書いてください。また、困ったことがあれば、具体的に書いてください。また、困ったことを解決するために自分がしたり、事前に準備したりしておくべきことを具体的に書いてください。

①良かったことは？	• 現地でたくさんの友人ができたこと。 • たくさんの貴重な体験をできたこと。 • 現地の家族や関係者が優しかったこと。 • ホストファミリーとたくさん話したこと。

②困ったことは？	• 話題が尽きてしまったこと。 • 帰りの荷物が２つになってしまい、お金がたくさんかかったこと。 • 発音が違って、自分の英語が通じなかったこと。（２人）

③自分のしたことや事前の準備は？	• 特に何もしませんでした。 • ビニール袋を数枚入れておくと良いです。 • 事前にホストファミリーにメールを送って、お土産を用意しました。

Ｑ６　海外派遣で、とまどったことや不安に思ったこと、疑問に感じたことなどがあれば、具体的に書いてください。

- 買物で、店員と話しても通じなかったことです。
- 盗難が多いと聞いていたので、定期的に荷物をチェックしました。人混みでは、特に気を付けました。
- いつ洗濯をしてもらえるかが心配でした。

Ｑ７　海外派遣について意見や感想、要望などがあれば自由に書いてください。

- とても素晴らしい経験ができました。言葉の壁はありますが、伝えられないときは身振りなどを入れると伝えあることが何度もありました。
- 一生の思い出です。とても良い経験ができました。

Ｑ９　ホストファミリーのお土産として、何を持っていきましたか。具体的に書いてください。

- 扇子、柿ピー、日本的なコップ
- 食べ物の形をした消しゴム、うちわ、扇子、緑茶パック
- 日本のお菓子、スプーン、ステンレスの台所用品
- 入浴剤、扇子、ビーチサンダル、タオル、アクセサリー、ラーメン、カレー、ホストファミリーの名前を漢字で書いた習字、消しゴム、お箸、爪切り、折り紙と折り紙の本

平成 25 年度燕市国際交流事業

驚き！　発見！　そして涙！

みんなの感動体験記

姉妹都市アメリカ合衆国・ミシガン州ダンディ村へ、7 月 29 日から 8 月 9 日まで中学生 4 人を派遣しました。
派遣生はホームステイをしながら現地の生活に触れ、たくさんの貴重な体験をしました。ダンディ村での滞在中の様子と派遣生たちの声を紹介します。

アメリカ合衆国
ダンディー村

●伊藤　菜々子さん（分水中学校３年）

アメリカで過ごした 11 日間は、わたしの宝物です。今このように思えるのは、ホスト・ファミリーをはじめとするダンディ村の皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。

◀ホスト・ファミリーとアウトドア村へ

◀クリスマスストアを訪問

◀デトロイトの球場でチアガールと一緒に

●池田　修斗さん（燕中学校３年）

わたしがこの海外派遣で印象に残ったことは、実際の英会話と学校で習っている英語との差、乗馬体験などの馬に関わる仕事をさせてもらったことや博物館などに行ったことです。

◀ホスト・ステューデントと自宅で乗馬

◀ヘンリー・フォード博物館で記念撮影

◀地元のお祭りでの記念撮影

●佐藤　愉生さん（吉田中学校３年）

印象に残ったことは、「シダー・ポイント」という遊園地に行ったことです。そこで、世界で２番目に高いジェットコースターに乗りました。とても楽しかったです。

◀「シダー・ポイント」の入場門前にて

◀「シダー・ポイント」の全景

◀観覧車から見た「シダー・ポイント」の風景

●伊藤　海人さん（燕中等教育学校２年）

今回見学したことやアメリカでの生活は、最高の思い出になりました。また行きたいと思うほど楽しかったです。昨年にホスト・ファミリーとして受け入れた皆さんとも再会できて感謝しています。

◀ホスト・ステューデントと動物園にて

◀派遣生全員とホスト・ステューデント全員で

◀燕市についてのプレゼンテーション

【姉妹都市交流】ダンディ随行職員のコメント

●燕市教育委員会 学校教育課 指導主事 有本千晴

爽やかな風がその豊かな緑色の葉を揺らすトウモロコシ畑が、地平線まで続いている夏のミシガンで、12日間の夢のような楽しい時間を過ごしました。

やや緊張した面持ちで臨んだ対面式では、話す英語も自信がなさそうでしたが、ホストファミリーや地域の人たちとともに過ごす中で、皆さんの英語は少しずつ上達していきました。

親善大使としてのハイライトである燕市のPR活動では、少ない人数でも協力して、自分たちだけで立派に発表することができました。また、50人以上のゲストを日本食でもてなして話をしているときには、あの自信なさそうな姿は、もはや見られなくなっていました。このようにわずか1週間で大きく成長した皆さんを見て、親善大使としての役割をしっかり果たすことができたと感じました。

これからも、たくさんの多様な経験を積むと思います。そのときに、今回の経験を思い出して、自分一人でも困難を乗り越えられると信じて頑張ってください。応援しています。

←シダー・ポイント遊園地にて
親善大使と一緒に

モンロー歴史博物館にて→
昔のアメリカの教室を再現した部屋

【Jack&Bettyプロジェクト】
サンフランシスコ親善大使体験報告目次

【Jack&Bettyプロジェクト】サンフランシスコ日程 …… 19

【Jack&Bettyプロジェクト】サンフランシスコ親善大使体験報告
初めてのホームステイ …… 燕市立燕中学校２年　高 桑 美 帆 …… 20

世界の大きさを感じて …… 燕市立燕中学校２年　中山友梨子 …… 22

ホストファミリーへの感謝 …… 燕市立吉田中学校２年　小 林 峻 也 …… 24

ホームステイの思い出 …… 燕市立吉田中学校２年　堀　朋 実 …… 26

I will be back to my second hometown … 燕市立分水中学校１年　小杉ありす …… 28

新しい知識、深める知識、変える知識 … 県立燕中等教育学校２年　落 合 遥 香 …… 30

夢の１２日間 …… 県立燕中等教育学校２年　玉 橋 利 沙 …… 32

アメリカと初ホームステイ … 県立燕中等教育学校３年　岡田祐可子 …… 34

たくさんの出逢い …… 県立燕中等教育学校３年　河 上 鈴 華 …… 36

My family, Your daughter! …… 県立燕中等教育学校３年　佐藤里佳子 …… 38

海外派遣で得た経験と目標 … 県立燕中等教育学校３年　森 山 怜 恵 …… 40

God Bless the Pecks …… 新潟第一中学校２年　田 邉 由 佳 …… 42

【Jack&Bettyプロジェクト】サンフランシスコ親善大使体験報告（英文） …… 44

【Jack&Bettyプロジェクト】サンフランシスコ親善大使アンケート集計結果 … 48

「広報つばめ4月15日号」で紹介予定のサンフランシスコ親善大使の記事 …… 54

随行職員のコメント …… 56

平成 25 年度 Jack & Betty プロジェクト
海外派遣事業（アメリカ合衆国・サンフランシスコ）日程

月　日	内　　容
平成26年 2月22日（土）	10：27　燕三条駅出発 16：15　成田空港発（DL208）→（機中泊） ――――――日付変更線通過―――――― ８：55　サンフランシスコ着→市内見学（ツインピークス、ユニオンスクエア、フィッシャーマンズワーフなど）→ペタルマ市へ移動 オリエンテーション終了後　ホストファミリーと対面→ホストファミリー宅へ　（ホームステイ）
2月23日（日）	ホストファミリーと過ごす　（ホームステイ）
2月24日（月）	サンフランシスコ市内視察 （市庁舎、ユニオンスクエア、ロンバートストリート、ケーブルカー乗車体験、聖ピーター＆ポール教会、ゴールデンゲートパーク、日本庭園など）　（ホームステイ）
2月25日（火）	英語のレッスン①　あいさつ、自己紹介、質問の仕方 カルフォルニア州ハイウェイパトロールについて　（ホームステイ）
2月26日（水）	英語のレッスン②　イディオム、米国の家庭生活 サンライズ・シニア・センター訪問（燕市PR・文化紹介） （ホームステイ）
2月27日（木）	英語のレッスン③　単位の違い、キリスト教 コロナ・クリーク・グレード・スクール訪問（日本の遊び等紹介） （ホームステイ）
2月28日（金）	サンフランシスコ市プレシディオ・ミドルスクール訪問（燕市PR・文化紹介） 在サンフランシスコ日本国総領事館訪問　（ホームステイ）
3月 1日（土）	ホストファミリーと過ごす　（ホームステイ）
3月 2日（日）	ホストファミリーと過ごす　（ホームステイ）
3月 3日（月）	英語レッスン④　米国の祝祭日 お別れパーティー（燕市PR）終了後、サンフランシスコ市内のホテルへ （サンフランシスコ市内ホテル泊）
3月4日（火） 3月5日（水）	10：00　サンフランシスコ空港発（DL5837）→ 11：30　ロサンゼルス空港着 12：20　ロサンゼルス空港発（DL283）→（機中泊） ――――――日付変更線通過―――――― →17：05　成田空港着 21：25　燕三条駅到着後、解散 ゴールデンゲートブリッジ

初めてのホームステイ

燕市立燕中学校　２年
高　桑　美　帆

私が今回の海外派遣で学んだことは二つあります。

一つ目は、自分の気持ちをしっかり伝えることの大切さです。私のホストファミリーは、とても明るく友好的でした。子どもたちは、いつもテニスやWiiなどの遊びに誘ってくれました。しかし、私もやらなくてはならないことがあったり、疲れていたりして遊べないときもありました。そのような場合は、「断る」という意志をはっきり表わすことが大切でした。私は流暢に英語を話すことができません。しかし、私の目標は「積極的にコミュニケーションをとる」だったので、自分の知っている単語や文法を使って一生懸命話しました。すると、「大丈夫。また明日、遊ぼう」と言って理解してくれたので、意志が伝わる喜びを感じました。日本語がまったく伝わらない土地で、自分の意思を伝えることはとても難しいですが、努力してホストファミリーと理解し合えたことは、これからの私の自信につながりました。

二つ目は、アメリカの文化についてです。アメリカと日本では、考え方や文化などが大きく違います。私は、アメリカでショッピングをして困ったことがありました。それは、袋をもらえないことでした。日本では、どこのお店でも、商品を買えば袋に入れてくれます。しかし、アメリカではそうしてくれないお店がほとんどでした。アメリカでは、日本のように相手の気持ちを先回りしてのサービスは少ないようでした。自分のしてほしいことを相手に伝えなければ、やってもらえないことが多いのです。

アメリカでは、見知らぬ人に会ったときでも、“Hi!”とあいさつをします。日本では見知らぬ人に会うとき、元気にあいさつをする人はあまりいないでしょう。このように、アメリカでは必要なことは明確に言う必要があったり、見知らぬ人にも元気よく話しかけたりと、日本とは違うことが多かったです。

私がアメリカで経験したことは、日本では学べなかったことばかりです。海外派遣を通じて、今まで以上に視野が広がり、とても良い経験になりました。

次に渡米するときは、もっと流暢に英語が話せるようになっていたいです。そして、ホストファミリーと生活を共にしたいです。ホストファミリーの皆さん、本当にありがとうございました。

写真上：フィッシャーマンズ・ワーフでエルモと一緒に
写真左：ペタルマ市内の幼稚園訪問で年長クラスの子どもたちと

目標の達成と自己評価など

1　国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標を決めましょう。

目標①　積極的にコミュニケーションをとり、友達をつくる。
失礼のない会話を心がける。

目標②　日本の文化を伝え、アメリカの文化を学ぶ。
アメリカに染まれるようにする。

2　目標は達成できましたか？

目標①について　積極的にコミュニケーションがとれたのは良かったと思う。「失礼のない会話を心がける」では少し達成できなかった。

目標②について　しっかり日本の文化を伝えられたし、アメリカの文化を学ぶこともできたと思う。アメリカの文化ではビックリしたことも多かった。

3　最も思い出に残ったことを書いてください。

ホストファミリーとのショッピング♡ いろいろな商品を教えてくれたり、一緒に商品を選んでくれたりして、楽しかったです。アメリカには日本で見たことないものばかりで、商品を眺めるだけでも、とっても楽しかったです。

4　これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

英語をもっと流暢に話せるようにしたい。発音も今まで以上に良くなるようにしていきたい。

5　海外派遣を希望する人へのアドバイスを書いてください。

。少しでも興味があるならチャレンジした方が良いと思います。
。単語は少しでも多く覚えて行った方が良いと思います。

世界の大きさを感じて

燕市立燕中学校　2年
中 山 友 梨 子

私は、燕市親善大使として、サンフランシスコへ行ってきました。そこでは、とても良い体験をさせていただいて、本当に自分のためになりました。その中でも、特に良い経験になったことは、「自分の伝えたいことを積極的に伝える」ということです。

私は、最初はそれがうまくできずに、食べたいものを食べられなかったり、コミュニケーションをとれなかったりして、どうしたらいいか悩みました。

しかし、現地の方々と接する中で、もっとしっかり自分の考えや気持ちを伝えなければと思いました。それからは、私はホストファミリーに自分の気持ちを伝えるように努力しました。そうすると、こちらの話をきちんと聞き入れてくれました。そして、とてもスムーズに物事が進むようになりました。このようにして、私はコミュニケーションの大切さを学びました。

もう一つの経験は、人の温かさを感じたことです。現地の人たちが私たちのことを受け入れてくださって、本当に感謝しています。普通に、家族同様に接してくれたので、素直に溶け込むことができました。それに、私たちの英語を一生懸命に聞き取ろうとしたり、話しかけてくれたりして、とても嬉しかったです。

お別れ会では、「もっと英語がうまくなって帰ってきてね」と言われました。そして、もっと英語を勉強して、また行きたいと強く思いました。

この貴重な経験をさせていただいて、本当にありがとうございました。

写真上：お別れ会でホームステイ先のお子さんとその友達と一緒に
写真左：ホストマザーとそのお子さん

目標の達成と自己評価など

1　国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標を決めましょう。

目標①　親善大使として燕市をサンフランシスコの方に燕市の特色などを広めてくる。

目標②　自分の知識をもっと広げ、自分を成長させる

2　目標は達成できましたか？

目標①について　ホストファミリーの方々などに広められたと思います。

目標②について　価値観や文化のちがいなど実際に体験してみないとわからないのでまさに「百聞一見にしかず」

3　最も思い出に残ったことを書いてください。

一番の思い出は最後のお別れ会です。
見ず知らずの私たちを心よく受けいれてくれて、たくさん迷惑もかけたのに、最後の最後まで私たちにあたたかく接してくれました。そして、最後は涙まで流してくれて、本当に感謝しています。

4　これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

この経験を生かして将来の自分につなげられるようにもっと英語を勉強したいです。

5　海外派遣を希望する人へのアドバイスを書いてください。

ちゃんと単語だけでも覚えていくことです。

ホストファミリーへの感謝

燕市立吉田中学校　2年
小　林　峻　也

僕は、「アメリカでの生活に、慣れることができるだろうか」、「コミュニケーションをとることができるだろうか」と、不安に思いながら日本を飛び立ちました。

まず緊張したのは、入国審査でした。様々な質問を英語で尋ねられましたが、事前研修で習ったことを生かして、無事に入国することができました。“OK. Enjoy your stay.”と言われたときは、とても安心しました。

その日の夜、僕はホストファミリーに会いました。「僕のホストファミリーは、どのような家族なのだろう」と思っていたら、“Hi, Shunya!”と言いながら、突然ある人が抱きしめてくれました。その人は、僕のホストマザーでした。そして、彼女の息子さんであるJadonが、“Hey, do you play football?”と質問をしてくれました。僕は”Yes.”と答えて、彼とアメリカンフットボールを始めました。最初は緊張していましたが、ほめられるとどんどん笑顔になって、不安や緊張はなくなっていました。

僕は、ホストファミリーにいろいろな所に連れて行ってもらいました。一番の思い出は、Jadonの友達の家に泊まったことです。僕たちは、一緒にアニメを見たり、スケートボードをしたりして遊びました。僕がスケートボードをできるようになると、彼らは“Good, Good!”とほめてくれました。

しかし、そのような楽しい日々はあっと言う間に過ぎて、彼らと離れる日になりました。修了証を渡されたときには、半泣きしてしまいました。そして、先生から「5分後に出発します」と言われたとき、Jadonと弟のJaletが、“Take picture with us! And smile!”と言い、僕のカメラを指差しました。僕は泣き顔を笑顔に変えて“Yes.”と答え、写真を撮りました。その写真は僕の宝物です。

僕は、アメリカで最高の日々を過ごすことができました。ホストファミリーは、宿題を教えてくれたり、ゲームの遊び方を教えてくれたりして、とても親切な人達でした。チャンスがあったら、もう一度ホストファミリーに会いたいです。そのときには、英語を流暢に話せるよう、今から努力をしたいです。ホストファミリーの皆さん、本当にありがとうございました。

写真上：アメリカンフットボールをしているとき
写真左：ホストファミリーとお別れパーティーで

目標の達成と自己評価など

1　国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標を決めましょう。

目標①　積極的にホームステイの家族に話しかける。
失敗しても良い経験だと思ってする。

目標②　燕市の良い所を紹介する。プレゼンテーションはもちろん、
そこに乗っていない情報も紹介する。

2　目標は達成できましたか？

目標①について　達成できた
“I don't understand.”と言われても、ジェスチャーや自分が分かる表現で伝えようとした。

目標②について　達成できなかった。
プレゼンテーションはアクセントに気をつけて説明出来たが、
乗っていない情報を説明することが出来なかった。

3　最も思い出に残ったことを書いてください。

ホストファミリーの友達の家に泊まったこと。
1晩中、アニメを見たり、1日中スケートボードをしたりしていた。
スケートボードは大の苦手だったけれど、滑れるようになったことがうれしかった。
とても楽しい時間を過ごした。

4　これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

英検2級に合格する。今よりもっと話せるようになる。
ホストファミリーとe-mailの交換を多くする。
スケートボードをもっと出来るようになる。

5　海外派遣を希望する人へのアドバイスを書いてください。

最初は緊張するかもしれません。まず、雰囲気に慣れるようにして下さい。
そうすると、楽しくなってきます。英語のCDも聞くようにして下さい。
アメリカの英語は早口なので、スピードに慣れるようにして下さい。

ホームステイの思い出

燕市立吉田中学校　２年
堀　　朋　実

初めての海外での生活、初めてのホームステイなので、とても楽しみでした。しかし、それ以上に大きな不安もありました。日本で生活していると、英語で話すという機会はなかなかありません。私は英語で話してみたいと思う反面、自分の英語が通じなかったら嫌だなという気持ちもありました。

そんな気持ちを抱えながら、ホストファミリーとの対面の日を迎えました。とても緊張していた私を、ホストファミリーの皆さんは温かく迎え入れて、持っていった日本のお土産を喜んで受け取ってくれました。ひな人形を見て、「とてもかわいい！」と感激してくれたときはうれしかったです。

ホストファミリーとの生活は、私の想像以上に楽しいものでした。私が英語を聞きとれないときには、簡単な英語に直して話してくれました。そのため、コミュニケーションに困ることはほとんどありませんでした。ホストマザーはとても親切で、私のことを常に気にかけてくださいました。ホストファミリーの子どもたちは恥ずかしがり屋でしたが、折り紙を一緒に折ったり、テレビゲームをしたりして、次第に打ち解けることができました。一緒に食事をしたり、団らんを一緒に過ごしたり、休日に外出したり、買物に行ったりしたことは、私にとって新鮮で貴重な経験になりました。ホストファミリーには、本当に感謝しています。

また、燕市の親善大使として、燕市のプレゼンテーションをしたことも、大変貴重な経験でした。私たちの英語がきちんと伝わるのか不安でしたが、現地の方に理解してもらい、褒めていただきました。とても嬉しかったです。

私はこの親善大使の経験を通して、ますます英語や海外に興味をもつことができました。これからは、この経験を生かして、もっと英語を勉強し、将来は英語に関わる職業に就きたいと考えています。

最後に、このような機会を与えてくださった燕市や関係者の方々、ご指導くださった先生方、お世話になった方々に感謝いたします。本当にありがとうございました。

写真上：ホストファミリーとサンフランシスコで
写真左：日本からのお土産とホストファミリー姉妹

目標の達成と自己評価など

1　国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標を決めましょう。

目標①　英会話力をつけるために、できるだけ多くの人に積極的に話しかけ、多くの人と知りあいになる。

目標②　燕市や日本の良さをたくさん伝える。そして、サンフランシスコやアメリカの良さも学んでくる。

2　目標は達成できましたか？

目標①について　間違った英語もたくさん使ったと思いますが伝えようとがんばって話すことができて良かったです。英会話を通じて仲良くなれた人もいて良かったです。

目標②について　みんなで行ったプレゼンをたくさんの人が誉めてくださり、とても嬉しかったです。サンフランシスコの良いところもたくさん発見できました。

3　最も思い出に残ったことを書いてください。

ホストファミリーがとても良くしてくれたことです。英語が聞きとれなかったときには、簡単な英語におきかえて言いなおしてくれたり、楽しいお話をたくさん聞かせてくれたりして、とても嬉しかったです。最高のホストファミリーに出会えて幸せでした。

4　これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

もっともっと英語を勉強して、楽しく英会話ができるようにしたいです。そして、いろいろな国へ仕事や旅行をしに行けるような人になりたいです。

5　海外派遣を希望する人へのアドバイスを書いてください。

話すことももちろん大切ですがそれ以上に聞くことは大切です。英語を少しでも聞き取れるようにしておくと良いと思います。聞きとれなかったときは、分かったふりをしないということも大切です。

I will be back to my second hometown

燕市立分水中学校　１年
小 杉 あ り す

今回のアメリカでのホームステイは、私にとって忘れることのできない貴重な体験になりました。出発の日に、私には、「私の英語はしっかり伝わるか」、「ホストファミリーはどのような人か」など、多くの不安がありました。

アメリカに到着してから、私達は、サンフランシスコ市の市内を観光しました。ツインピースという丘の上から見た景色は、とてもきれいでした。ユニオン・スクエアやPier39などに行き、買い物や食事を楽しみました。

そして、サンフランシスコから約１時間離れたペタルマという街で、ホストファミリーと会いました。迎えに来てくれたのはホストマザーのJeannieと娘のTayaでした。ホストマザーはとても明るく気さくで、車の中で何度も話しかけてくれました。家に着く前に息子さんであるTylerに会いに行きました。家に着くと、ホストファーザーのTesse、そしておばあさんであるMaryが優しく迎えてくれました。私はとても嬉しかったです。

翌日からは、午前中は英会話のレッスンで、アメリカのお金、祝日、英語のイディオムなどを勉強しました。コミュニケーションをとるのが難しかったときには、先生が優しく教えてくれたのでとてもよく分かりました。

夕方になると、ホストマザーが映画館やキャンディーショップに連れて行ってくれました。休日は、Tayaのサッカーやダンスの練習を見に行ったり、サンフランシスコにお買い物に行ったり、家でダンスゲームをしたりして、とても楽しく過ごすことができました。

気が付くと、最終日になっていました。不安がいつの間にか消えていたのも、素晴らしいホストファミリーのおかげです。私は、もっとスムーズにコミュニケーションがとれるようになったら、またホストファミリーに会いたいです。この経験を生かして、将来は海外と日本のかけ橋となるような人になりたいです。

この最高の機会を与えてくださった皆様、本当にありがとうございました。

Thank you, America!

I ♡ America!

I will be back to America!

写真上：キャンディーショップにて
写真左：ペタルマ市内の老人ホームでお抹茶をサービス

目標の達成と自己評価など

1　国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標を決めましょう。

目標①　積極的にホストファミリーやたくさんの人と仲良くなる。
私は積極的にホストファミリーなどに話しかけ、お手伝いをしっかりしたいです。そしてたくさんの人と仲良くなりたいです。

目標②　燕市の文化を伝えアメリカの文化を知る。
しっかり燕市の文化をホストファミリーなどに伝えアメリカの文化をちゃんと知りたいです。

2　目標は達成できましたか？

目標①について　できたと思います。積極的にたくさんの事を質問し、May I help you? と聞くこともできました。そしてホストファミリーやたくさんの人と仲良くできました。

目標②について　とてもよくできたと思います。。
日本にまたこともあるらしく日本のことや燕市のことをたくさんきかれました。それをしっかり答えることができたので良かったです。

3　最も思い出に残ったことを書いてください。

私が最も思い出に残ったことは、ホストファミリーと一緒にお買い物に行ったことです。Pier39やホストファザーの働いているホテルそしてゴールデンゲートブリッジがよく見えるところに行き写真をとりました。ホストファザーが働いているホテルはとても大きく、ここのメインシェフだと聞きびっくりしました。

4　これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

私はこの経験を生かし、たくさんの外国人とコミュニケーションをとれるようにしたいです。そしてまたペタルマに戻り、ホストファミリーと再会して動く。私はスムーズに会話できるようにしたいです。

5　海外派遣を希望する人へのアドバイスを書いてください。

何を言っているか分からないときはPardon?としっかり分かるまで聞くことが大切だと思います。そして文章が上手にまとめられなかったら単語とジェスチャーでやってみることも大切です。しゃべるチャンス

新しい知識、深める知識、変える知識

県立燕中等教育学校　２年
落　合　遥　香

私は、今回の派遣でのモットーともいえる言葉を見付けました。それは「新しい知識、深める知識、変える知識」です。これは、新しいことを学び、今までの知識を深め、今まで見ていた物事の角度を変えて見るということです。私は、それらを達成できたと思います。

まず、英語についてたくさんの新しいことを得ることができました。発音、アクセント、イントネーションなど、自分の間違っていたことを直すことができました。また、ホストファミリーの女の子から、英語の本を読んでもらいました。その後に自分が読むことで、間違いや読めない部分を教えてもらいました。そのおかげで、聞く力、話す力を少しでも身に付けることができたと思います。英語のレッスンでも、同様の学習をやりました。文を書いたり、絵本を読んでもらったりしました。私は、「英語の勉強は机に向かうだけでなく、実際に聞いたり話したりすることも大切だ」ということを学ぶことができました。

アメリカの生活についても、知識を深めることができました。例えば、夕食のことについてです。アメリカでは、「いただきます」や「ごちそうさまでした」は言わないと思っていました。しかし、私のホストファミリーは、夕食をいただく前にみんなで手をつないで食事を囲みます。そして、家族の１人が、日常生活やその日にあった良い出来事について感謝のお祈りを言い、最後に全員が“Amen”と言います。また、食事の後は“Thank you for dinner. It was delicious.”と言ってから席を立ちます。私はアメリカの生活を知っていたつもりだったけれど、実際には知らないことがたくさんありました。いろいろなことについての知識を、一層深めることができたので良かったです。

アメリカ人に対する印象も変わりました。私はアメリカへ行ったことがなかったし、直接アメリカの人と触れる機会も少なく、最初はとても不安でした。しかし、アメリカの人達はとても優しく、気さくな方ばかりでした。私が買物の会計で困っているときは、ホストファミリーや周りの人が助けてくれました。この経験を通して、多くのことを知ることができて良かったです。

今回の派遣で学んだことを、今後の生活や自分の夢に役立てていこうと思います。

写真上：ホストファザーのパトロール用のバイクに乗せてもらって
写真左：ペタルマ市内の幼稚園で年長クラスの男の子たちと

目標の達成と自己評価など

1　国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標を決めましょう。

目標①　将来の夢のためにも燕のためにも英語力を深めて、燕市をPRしてきます。新しい知識、深める知識、変える知識。新しいことを学び、今までの知識を深め、今まで見ていた物事の角度を変えてみる、ということです。

目標②　人との関わりを大切にしたいです。アメリカでは初めて会う人達がたくさんいます。笑顔を忘れないで、良い印象を与えることができたらと思います。コミュニケーション力をつけてこようと思います。

2　目標は達成できましたか？

目標①について

私は目標であった「新しい知識、深める知識、変える知識」を達成できたと思います。視野を広くしたからにはこれからもたくさんの知識を得たいです。

目標②について

ホームステイ先の人はとても気さくな方で、自分自身も自然と笑顔がこぼれるような会話をすることができました。「相手のことを考えながら」はコミュニケーションで大切だと学びました。

3　最も思い出に残ったことを書いてください。

私のアメリカでの思い出の大半はホストファミリーとの生活についてです。最初は質問に答えてばっかりであまり自分から話すことがありませんでした。ですが、一緒に遊んだり話しているうちに、こっちからの質問もだんだんと多くなっていきました。今思うと「たしずつ家族になれたこと、一緒に「たしの間だったけど生活できたことが一番宝物だし思い出にもなりました。

4　これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

今回の海外派遣を通して、私はもっと英語に興味をもちました。なので、英語についてたくさん学び、方言でなく普通の会話ができるようになりたいです。だからまたこういう機会があれば参加したいです。

5　海外派遣を希望する人へのアドバイスを書いてください。

ホームステイするとき積極性が必要だと思います。話すにしても、何かを手伝うにしても、人にたよらず積極的に行ってください。また、「来たときよりも美しく」です。

夢の１２日間

県立燕中等教育学校　２年
玉　橋　利　沙

私は、今回この海外派遣で、初めて海外に行きました。現地でうまくやれるように、姉の英語のレッスンを一緒に受けたり、空港で足手まといにならないように事前研修の復習をしたりして、出発の日を迎えました。たくさんの疑問と緊張感をもって、アメリカに到着しました。飛行機の中では眠ることができたので、時差ボケも感じませんでした。

初日は、サンフランシスコ市内の観光でした。まず初めに、ツインピークスという市内で最も高い丘の上に行きました。そこから見た景色は、とてもきれいでした。次にユニオン・スクエアでいくつかのデパートなどへ行き、昼食はPier39で大きなハンバーガーを食べました。お腹がいっぱいになりましたが、おいしかったです。その後、Pier39でショッピングをしてから、有名なゴールデンゲートブリッジに行きました。本物を見るのは初めてでした。みんなで橋を歩き、ポストカードを作りました。

観光を終えて、バスでゴールデンゲートブリッジを渡り、ペタルマ市まで行きました。夕方にホストファミリーと会い、家に向かいました。日本の家と違い、裏庭がとても広かったです。家に着くと、早速夕食でした。フルーツがたくさん出て、最初は違和感がありましたが、次第にそれにも慣れました。夕食後は、家族とゲームを一緒にして仲良くなりました。

２日目は、ホストファミリーと過ごす初めての休日でした。いろいろな場所へ連れて行ってもらいましたが、一番楽しかったのは博物館です。夜は、ピザレストランに連れて行ってもらいました。一番気に入ったのは、ハワイアンピザでした。

3日目からは、午前中に英会話のレッスンを受けました。午後からは、毎日違う活動をしてとても楽しかったです。金曜日には、午前中にサンフランシスコ市内の公立中学校に行き、燕市のPR活動をしました。そして、午後から日本総領事館を訪問しました。もう二度とできない体験だと思っていたので、しっかりと総領事のお話を頭に入れるようにしました。そして、週末にはホストファミリーとの最後の時間を過ごしました。

最終日は、夕方に全員でお別れ会に参加して、最後のＰＲ活動を行いました。今までで最高の発表だったと思います。アメリカでの１２日間は、本当に貴重なことばかりでした。とても素敵なホストファミリーや先生方に会えて、本当に良かったです。次はいつ会えるかわからないけれど、絶対にまたペタルマ市を訪れたいです。

写真上：ホストシスターとミニゴルフをしたとき
写真左：ジェリービーンズの工場にて

目標の達成と自己評価など

1　国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標を決めましょう。

目標①　現地の人とふれあうと共に、コミュニケーション能力、英語力の更なる向上に努め、今後の勉強や生活に役立てたいです。

目標②　アメリカと日本の文化の違いを学び、理解したうえで、燕市の良い所をより効果的に伝え、できるだけ多くの人に知ってもらうことです。

2　目標は達成できましたか？

目標①について　1人でホームステイをしたので、日本語が話せず、とても英語の勉強になりました。辞書などを活用し、コミュニケーションをとることができました。いろいろな人と話をすることもできました。

目標②について　できるだけ大きな声で、自分のできることを精一杯努めました。燕市のことが英語で書いてあるパンフレットをホストファミリーに渡して読んでもらいました。

3　最も思い出に残ったことを書いてください。

最終日の夜にモンスターズユニバーシティを観たことです。サプライズだったのでびっくりしました。とてもおもしろかったです。ステイした10日間、いろいろありましたが、やっぱり最後が一番特別な時間でした。寝る前に話しをしてから一緒に寝ました。楽しかった半面、さみしい思いもありました。

4　これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

自分の英語の力不足を感じたので、今までより以上に英語の勉強をしたいです。それと、ホストファミリーがパソコンが得意だったので、パソコンを使っていろいろしてみたいです。

5　海外派遣を希望する人へのアドバイスを書いてください。

・自分の意志をはっきり伝えることです。いろいろと質問されるので明確に伝えたほうがいいと思います。
・積極的に、ノリをよくすることです。「ココへ行きましょう。」と言われたらどんどん行ったほうがいいと思います。

アメリカと初ホームステイ

県立燕中等教育学校　３年
岡 田 祐 可 子

私は、アメリカへ向かう飛行機の中であまり眠ることができず、少し眠いままアメリカに着きました。

空港を出ると、空は青く晴れ渡っていて、暖かく、日本との違いをすぐに感じました。ガイドさんは、「サンフランシスコでは雨はあまり降らず、日本に比べると暖かいです」と説明してくださいました。

空港から、バスでツインピークスというサンフランシスコで最も高い丘の上まで移動しました。バスの窓の外の景色は、日本とは全く違いました。ぴったりくっついて坂道の脇に並んでいる家はまるでおもちゃのようで、とても可愛らしかったです。家が並んでいるのは、地震で倒れないためだと聞きました。

ホストファミリーと会う前に、私たちはPier39で昼食や買物を楽しんだり、ゴールデンゲートブリッジで記念写真を撮影したりして、サンフランシスコを観光しました。観光を終えて移動するときには、バスの中で眠ってしまいました。

到着すると、ホストマザーとホストシスターが出迎えてくれました。ホームステイ先に向かう途中、お店に行って、ホストブラザーと会いました。

ホストファミリーは、お父さん、お母さん、おばあさん、お兄さん、そして妹さんの５人家族でした。お別れの直前になって分かったのですが、息子さんは他にも２人いるそうです。家族の皆さんは明るくて、とても優しい人たちでした。ペットの犬や猫、うさぎも、とても可愛らしかったです。

アメリカでの思い出は、たくさんあります。ゲーム好きのお兄さんが、私の好きなゲームの海外版を見せてもくれたことや、妹とその友達のエミリーと夜遅くまで遊んだこと、皆で観光に行ったこと、映画を見たことなど、数えきれません。

私は、日本を離れてアメリカで１２日間過ごすことについて、最初は不安でした。しかし、最後には「ずっとここにいたい」と思うくらい、楽しいホームステイでした。

最後に、私にアメリカへ行く機会を与えてくださった方々、ホストファミリーの皆さん、本当にありがとうございました。

写真上：ツインピークスからサンフランシスコ市街を見渡す
写真左：ピア39のアシカをバックに記念写真

目標の達成と自己評価など

1　国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標を決めましょう。

目標①　いろいろな人と、積極的にコミュニケーションをとること。
特に、ホストファミリーとの会話を絶えさせないこと。

目標②　いろいろな場面で質問し、知識を増やすこと。
また、逆に質問されても、できるだけ早く、はっきりと答えること。

2　目標は達成できましたか？

目標①について　コミュニケーションをとることができた時もあったけど、話のスピードについていけなかったり、何を話せばいいかわからなくて話せなかったときもありました。

目標②について　質問をすることは難しくて、少なかった気がするけど、質問に答えることはできたと思います。

3　最も思い出に残ったことを書いてください。

ホストシスターとホストシスターの友達と夜遅くまでダンスゲームをして遊んだこと。ホストシスターたちはすごくダンスが上手でした。翌朝、ペットの犬に起こされました。

4　これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

語彙をもっと増やして、伝えたいことをもっと的確に伝えられるようになりたいです。

5　海外派遣を希望する人へのアドバイスを書いてください。

何を話そうか考えてしまうことがあるので、話のネタを日本にいるときから考えておくといいと思います。

たくさんの出逢い

県立燕中等教育学校　３年
河　上　鈴　華

私は、今回の海外派遣において人々との出逢いが一番印象に残っています。現地では、たくさんの人と出逢うことができました。そして、一番感謝の気持ちを伝えたいのは、やはりホストファミリーです。

私のホストファミリーは３人家族で、インドから移住してきたのだそうです。ホストマザーは２人の子どものお世話や仕事で忙しいのにもかかわらず、私にとてもおいしい料理をふるまってくれたり、いろいろな所へ連れていったりしてくれました。彼女がいてくれたからこそ、毎日安心して生活し、ホームステイという貴重な体験を充実したものにすることができました。例えば、ホストファミリーと大きなスーパーマーケットに行ったこと、一緒に買い物をしたこと、一緒にLEGOやいろいろなゲームをして遊んだこと、ホストシスターと一緒に日本語を勉強したこと、ホストマザーとドライブをしたこと、それらの全てが私の大切な宝物です。３人との出逢いがあったからこそ、私は笑顔で帰国することができたのだと思います。

その他にも、たくさんの出逢いがありました。例えば、私たちの毎日英語のレッスンをしてくださったフェリシア先生とミシェル先生です。お二人は、宗教の違いを教えてくれたり、日本の英語の授業では習わないようなことを教えてくれたりして、私のアメリカに対する興味と関心をさらに大きくしてくださいました。

カリフォルニアは、とても温かい街です。気候はもちろん、人々の愛に私はとても感動しました。

出逢いに別れはつきものです。別れがとても辛く、たくさんの涙を流したのは、きっと彼らとの出逢いが私にとって宝物であり、一生忘れられない思い出になったからだと思います。

私は、この出逢いを絶対に忘れません。またいつか、出逢える日が来ることを願っています。そのときには、今よりさらにレベルアップした姿で会えるようこれからも英語の学習を怠らず、自分の夢に向かって日々努力していきます。

そして、これからの人生においても、たくさんの人との出逢いを大切にしていきたいです。

写真上：お別れパーティーでホストファミリーと
写真左：ペタルマ市内の幼稚園で年長クラスの女の子たちと一緒に

目標の達成と自己評価など

1　国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標を決めましょう。

目標①　アメリカでの英会話レッスンにおいて、積極的に授業に参加し、現地の英語に慣れるとともに、自分自身さらにネイティブな発音になることを目指し頑張ります。

目標②　視野を広めることです。アメリカでは、いつもとは違う環境で生活していくなかで、先入観にとらわれず広い視野を持ち、将来英語に関わる仕事につきたいという夢に向かって、自分を見つめ直し、その夢を叶えるための第一歩となるよう、充実した12日間にしたいです。

2　目標は達成できましたか？

目標①について　実際、レッスンを受けてみると想像以上に話すスピードが速く、理解するのに時間がかかり、あまり発言することができませんでした。ですが、それは次の目標に向かって進むためのチャンスになったのではないかと思います。

目標②について　私のホストファミリーは、インドから移住してきたという方々でした。ですから、アメリカの文化はもちろん、インドの文化、人々についてもよく知ることができました。また、現地の人々とコミュニケーションをとる中で、やはり私は将来、英語を使う仕事につきたい、という気持ちを再発見することができました。

3　最も思い出に残ったことを書いてください。

私が最も印象に残っているのは、最後のピザパーティーです。
それは、ホストファミリーとの最後の時間でした。その時、10日間のことを思い出し、別れがつらく、みんな涙を流していました。
別れはとても辛かったですが、カリフォルニアのみなさんと出逢えたことは私の一生の宝物になりました。

4　これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

私は、今回の経験を通して、英語を話すことの難しさと楽しさを学ぶことができました。また、海外へ行くチャンスがあれば今回よりさらに充実したものにできるよう、英語に対する学習意欲を高めたいです。

5　海外派遣を希望する人へのアドバイスを書いてください。

外国では、あいまいな返事をしたり、中途半端な行動をとるのではなく、自分のしたいことや気持ちを言葉でしっかり表わせるようになることが大切だと思います。

My family, Your daughter!

県立燕中等教育学校　3年
佐藤里佳子

“You are my daughter.”これは、ホストファミリーとのお別れの会で、ホストマザーに言われた言葉です。この言葉を言われるまでに、たくさんのことを経験しました。そして、アメリカでの12日間は私にとって決して忘れることのできない素晴らしい旅になりました。なぜなら、アメリカでは、普段日本ではできないことをたくさんすることができて、その素晴らしさに気付けたからです。

例えば、夕食後の家族とした団らんです。これは、部活や宿題、習い事に追われた日々の日本での生活では十分にできないことでした。アメリカでは、今日のこと、友達のこと、学校のことなど、たくさんのことを家族と話す毎日の団らんは、私の日課になりました。この時間は、私の生活を楽しいものにするとともに、より英語好きにしてくれました。そして、この時間を通して、私はホストファミリーの温かさに気付きました。ホストファミリーは、私が彼らの話すことを理解してるいかどうかをいつも気遣ってくれました。私が分からずに困っていれば、分かるまで繰り返し伝えて言ってくれました。私も、そんなホストファミリーを見習って、幼稚園や老人ホームなどで人を気遣った伝え方をするように心がけました。このような経験は、私を成長させてくれたと思います。

そして、一緒に寿司屋さんにいったり、アルカトラス島にでかけたりと、とても楽しい思い出を作ることができました。それらは、どれも日本での普段の生活ではできないもので、とても温かい思い出になりました。

明るいお母さん、おもしろいお父さん、優しいお兄さん、元気いっぱいの弟さん、彼らとの生活は私に素敵な夢を与えてくれました。それは、絶対に将来は海外で仕事をしたいという夢です。今まで将来についてあまり考えたことのなかった私にとって、この夢はとても大切なものとなりました。

これからは、今回の思い出、そしてホストファミリーへの感謝を忘れず、夢を追って行きたいと思います。そして、お別れの日に“You are my daughter.”と言われた私も彼らを大切な家族と思い、いつかこの恩を返したいと思います。

I am your daughter. You are my family.

写真上：ホストファミリーの子ども（左端の男の子）の学校を訪問
写真左：ホストファミリーの親戚のお店で食事

目標の達成と自己評価など

1　国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標を決めましょう。

目標①　私は小さい頃から、茶道、華道、横笛をはじめとした日本の文化、そして英語についてさまざまなことを学んできました。サンフランシスコでは、私の大好きな日本、そして燕のいい所をたくさん知ってもらうため、今までの学びの成果を発揮してきたいと思います。

目標②　サンフランシスコではたくさんの出会いがあると思います。自分たちの文化を教え、知ってもらうだけでなく、海外の文化についても積極的に聞き、学んできたいと思います。帰国後それをたくさんの人に伝え、さらにこの旅を有意義なものにしたいと思います。

2　目標は達成できましたか？

目標①について　12日間、学校や老人ホームなど様々な場所で日本の文化を披露する機会、燕について話すことがありました。たくさんの人たちに日本や燕の良さをアピールしてきたので、今まであまり関心のなかった人たちにも日本や燕に興味をもって頂けたと思います。

目標②について　サンフランシスコでは、友達やホストファミリーのほかにも本当にたくさんの出会いがありました。積極性を大切にし、コミュニケーションをとったので、たくさんの人から話を聞くことができ、自然と異文化について知ることができました。とても有意義な旅になりました。

3　最も思い出に残ったことを書いてください。

ホストファミリーとたべた毎日の夕食が一番心に残りました。味、におい、見た目のすべてが違うアメリカ料理は、私の12日間をさらに刺激的な旅にさせてくれました。全てがおいしいわけではなかったけれど、異文化にふれてくるという意味で全てを完食してきました。食事だけではなく、夕食後の家族との団らんもとてもすてきな思い出になりました。ここでは、本当にたくさんの話をし、英語の勉強の楽しさについて気付けたと思います。

4　これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

サンフランシスコでは、中学生になってから初めて夢について考えることがありました。今まで具体的な夢は何も持っていなかったのですが、「絶対に海外で仕事をしたい」という夢を見つけることができました。今後はその夢に向かってさらに英語学習に力を入れていきたいと思います。

5　海外派遣を希望する人へのアドバイスを書いてください。

私がこの旅で一番必要だと感じたことは、強く意見表示をすることです。どこに誰といても自分の意思をしっかり述べることはとても大切です。まずYesならYes、NoならNoということは必要ですが、もしわからなければ疑問をそのままにせず、もう一度きいてください。そして何より楽しむことが旅を楽しくさせるために一番大切です。

海外派遣で得た経験と目標

県立燕中等教育学校　３年
森　山　怜　恵

私はこの海外派遣で、数多くの経験をしました。それは大きく分けると２つあります。

一つ目は、食文化の違いです。アメリカ人は、ファストフードを食べるとは聞いていました。私のホストファミリーの家では、食事が丸一日ファストフードだった日がありました。野菜も全く入っていず、とても驚きました。アメリカ人は、海外の生徒を受け入れても特別扱いせず、ありのままの生活を体験させてくれたので、日本との違いに気付くことができました。、ステーキなどの肉類はとてもおいしく、ホストファミリーと食べたときには、さらにおいしく感じました。

二つ目は、家の違いです。家によりますが、アメリカの家では靴を脱ぎません。靴を脱ぐときは、ベッドに入るときとシャワーを浴びるときだけです。そのため、廊下にはじゅうたんが敷かれていたり、何もない状態だったりなどでした。もちろん畳はなく、床に寝転ぶことはしません。

入浴も日本とは違っていました。シャワーが壁に取りつけてあって持つことができず、トイレと同じ場所にありました。私は、あまりの違いに少しとまどってしまいました。さらに浴槽が無く、日本との違いのために体調を崩してしまいました。しかし、運の良いことに、サンフランシスコの日本人医師の所へ行くことができたので、それも貴重な経験になりました。

また、経験と同時に新たな目標をもつこともできました。それは、今以上に英語を勉強して、自分の伝えたいことが伝えられるようになったら、再び海外へ行くことです。目標に向かって、日々努めていきたいと思います。

写真上：フィッシャーマンズ・ワーフで大道芸人のおじさんと一緒に
写真左：チョコレート工場で記念写真

目標の達成と自己評価など

1　国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標を決めましょう。

目標①　私は、人と会話をするとき、緊張してしまったり、恥ずかしがってしまったりして、うまく話せないことがあります。だからそのために、現地では積極的に会話をして、克服したいと思います。

目標②　私は、現地でホストファミリーとの交流を大切にしたいと思っています。そして、自身で文化や慣習にふれて学びつつ、燕市の魅力を最大限にPRしようと思います。

2　目標は達成できましたか？

目標①について　今回の海外派遣で、緊張したり、恥ずかしがったりすることはほとんどありませんでした。けれど、声が小さくなってしまうことが多々ありました。

目標②について　語い力の無さもあり、あまりコミュニケーションを取ることができませんでした。けれど、文化は、自ら生活してみて学ぶことができたと思います。

3　最も思い出に残ったことを書いてください。

一番の思い出はホストファミリーと過ごした時間です。日本語は全く通じないので、辞書で必死に調べながらでしたが、会話できたことがうれしかったです。それに、お客様扱いではなく、家族のように受け入れてくれ、とても楽しく過ごすことができました。

4　これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

今以上の語いと会話力を身につけて、もっと海外へ行きたいです。そして、さらに自分の英語力をつけることができたらと思っています。

5　海外派遣を希望する人へのアドバイスを書いてください。

この海外派遣を通して、私はコミュニケーションの大切さを実感しました。積極的に現地の方々とふれ合うことで、自分の英語力も高めることができると思います。

God Bless the Pecks

新潟第一中学校　2年
田　邊　由　香

出発前、私はホストファミリーと仲良くなれるか不安で、出発直前まで母に「大丈夫かな」と相談していました。母は、「大丈夫。行ってらっしゃい」と言い、温かく抱きしめて私を送り出してくれました。そのおかげで、私の不安は少し和らぎました。

アメリカに到着したときは、期待でいっぱいでした。1日目はサンフランシスコを観光しました。Pier39では、お菓子のお店で積極的に店員さんに話しかけました。英語が通じてうれしかったです。

午後には、ホストファミリーと対面しました。彼らは、家族全員で迎えてくれました。とても優しそうな方たちだったので、安心しました。週末を終えた3日目もサンフランシスコの観光でした。ゴールデンゲイトブリッジを見たり、カトリックの教会に行ったりしました。その日に、先生から宿題が出たので、帰宅後はすぐに宿題に取り掛りました。ホストファミリーの息子さんのEthanも宿題があるようで、一緒にテーブルで宿題をしました。難しい所は、ホストマザーに教えてもらいました。また、プレゼンテーションの練習にも付き合ってもらいました。とても優しいホストファミリーで、安心しました。

4日目から、本格的な英語の授業がスタートしました。私のホストマザーも先生の1人でした。授業は、私にとって少し難しかったです。帰宅すると、その日の宿題をホストマザーが色々と手伝ってくれました。5日目は、アメリカで燕市のPR活動の1回目でした。とても緊張しました。ホストマザーが、直前まで私の練習に付き合ってくれました。難しかったのは、“city”と“curriculums”のアクセントです。本番では、後者の発音がよくできませんでした。帰りの車の中で、ホストマザーに「上手にできなかった。」と言うと、「大丈夫。次は頑張りましょう」と言ってくれました。私はとても悔しかったので、毎日練習しました。

最終日のお別れパーティーで、最後のPR活動を行いました。そして、やっと納得のいく発音で発表することができました。嬉しかったです。私は、ホストファミリーに「できた！」と報告しました。それから、私はホストファミリー1人1人に書いた手紙を贈りました。ホストファミリーからは、たくさんのプレゼントをもらいました。手紙も入っていました。私は、泣きながら「ありがとう」と言いました。

私は、テストがあるからというような理由で、今まで英語を勉強していました。しかし、これからは、外国の人たちと会話ができるように英語を学ぼうと思います。God Bless the Pecks.

写真上：ペタルマ市内の幼稚園で一緒に遊んだ女の子たちと
写真左：ホストファミリーが集まったパーティーでの写真

目標の達成と自己評価など

1　国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標を決めましょう。

目標①　ホストファミリーと日本についてお話ししたりアメリカについても色々教えてもらいアメリカの文化をたくさん吸収したいです。

目標②　アメリカでは色々な所でプレゼンを披露する予定なので全員で成功させたいです。

2　目標は達成できましたか？

目標①について　夕食中や家族団欒の時間に私の家族の写真を見せたり日本からのお土産を使って日本を紹介したりホストファミリーからアメリカの家についてやアメリカkidsのHWの内容についてなど色々な事を教えてもらいました。

目標②について　ホストファミリーとプレゼンがある日の前日にプレゼンの練習をした結果出発式で行ったプレゼンに比べるととても進歩しました。アメリカでの最後のプレゼンテーションでは自分の中で最高でした。

3　最も思い出に残ったことを書いてください。

ホストファミリーとすごした時間がとても思い出に残っています。なにげないけれど，Sophiaとエthanと一緒に机でHWをしたことや夜FROZENを見たこと毎晩家族全員そろって食べた夕食などホストファミリーとすごせた時間が何より楽しかったです。中でも最後のおわかれピザパーティーでたくさん練習したプレゼンをホストファミリーに聞いてもらったことがうれしかったです。

4　これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

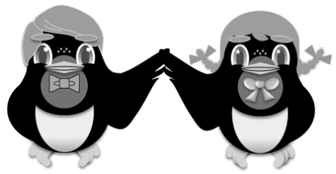
今まで私は英語をテストがあるからとかの理由で勉強していました。でもアメリカに行って感じたのは「もっと楽しく会話したい」です。なのでこれからは外国人と会話ができる自分になれるようになるために英語を中心に勉強をしようと思います。

5　海外派遣を希望する人へのアドバイスを書いてください。

ホストファミリーとたくさんコミュニケーションをとると良いと思います。私は宿題やプレゼンの練習などを通してたくさん会話しました。

【Jack&Bettyプロジェクト】サンフランシスコ派遣生体験報告（英文）

Tsubame Junior High School 2年 Miho Takakuwa



マスコットキャラクター
Jack & Betty

I learned two things while I was in Petaluma. One of them is the importance to tell our feelings.

My host family was very friendly. The host children asked me to join them a lot when they played. But I was sorry that I was not able to accept their offers because I had to finish my tasks. But they understood my situation well when I said I wouldn't play with them.

It was not easy for me to tell my feelings to other people. But I had confidence when my host family and I understood each other.

The other important thing is the difference of American and Japanese culture. I had a trouble when I enjoyed shopping in the U.S.A. I was surprised to know that the clerks mostly didn't give the customers any plastic bags if they didn't say that they wanted to get one. It was quite opposite to the system in Japan. We have to tell anyone what we want to do.

The life in the U.S.A made me find a lot of good and convenient things in my country. The trip as an ambassador of Goodwill let me open my eyes to notice the differences.

I hope I can speak English more fluently when I visit there someday again.

I really appreciate what my host family did for me.

Tsubame Junior High School 2年 Yuriko Nakayama

There are two things I remembered in the U.S.A. The first one is to express myself. I was not able to do it soon. So I couldn't eat what I wanted. I had to think about what I needed to do, and decided to tell my thoughts. Then it became easy to communicate with the locals.

The second one is to feel the warmth of the people. They always tried to listen to my poor English hard and used easy words when they talked to me. I felt their kindness very often. I was a little afraid of talking with the people in foreign countries. But I want to go abroad someday again.

Yoshida Junior High School 2年 Shunya Kobayashi

*Farewell Party

I worried a lot about my trip before I left Japan. I was very nervous at the immigration. I met my host family at the first night. My host mother said to me, "Hi." and hold me kindly. I was surprised to be welcomed that way. I was not nervous any more. My host family were very kind to me. I hope I see them once more. I really appreciate them.

Yoshida Junior High School 2年 Tomomi Hori

*Sunrise Senior Center

I enjoyed sightseeing in San Francisco very much. I have two impressive memories. One of them is when I saw the Golden Gate Bridge. It was a very beautiful day. The contrast between the red bridge and the blue sky was wonderful. I saw the Golden Gate Bridge in my English textbook. But the real one was much bigger and looked more powerful than I imagined.

The second one is the cable car. There are a lot of slopes in San Francisco. It was very exciting to go up to the steep slope by cable car. It was just like riding a roller coaster in an amusement park. The view of the city from the top of the slope was awesome.

I learned both the good points of the U.S.A. and Japan through the trip. I want to keep studying English and cultures of foreign countries. I would like to do something that is related with the people in various countries in the future.

I appreciate what the people helped me to go to the U.S.A. this time. Thank you very much.

Bunsui Junior High School 1年 Arisu Kosugi

My memory is that I visited many places with my host family. I had the best time in the movie theater and a candy shop. The theater was larger than the ones in Japan. They measured the candies at the shop to sell. They also sold jerry beans there.

I went to various stores, too. I made a lot of precious memories. I really appreciate what my host family did for me. I will go back to the U.S.A.

Tsubame Secondary School 2年 Haruka Ochiai

I have two impressive things in my trip. The first one is that I experienced homestay. I had a cold and suffered from hives during the stay. I made my host family bother a lot. But they were always very sweet. I was glad that they let me take a rest and gave some medicines to me. I could feel better thanks to their kindness. I had a full time in my life in the U.S.A.

The second one is sightseeing. I visited the Golden Gate Bridge, Fisherman's Warf, and so on. It was good for me to see the real bridge that I saw in my English textbook a year ago. It was much bigger than the one in the picture. The view from there was very beautiful. I rode a cable car, too. It was very exciting to ride in the end of the car.

I had many first experiences through the trip. I hope I can visit the U.S.A. if I have such an opportunity for my future dream. It was a precious experience for me. Thank you for the good memories.

Tsubame Secondary School 2年 Risa Tamahashi

At first, I thought about the important thing to communicate with the local people. I decided to give the people some Japanese souvenirs to let them be interested in Japan. I also played some video games with the children of my host family to become good friends. I was glad to be close to them. I am sure that I was able to improve my English.

*Twin Peaks

Secondly, I could learn about American culture through the trip. I told my host family about Japanese culture, too. The biggest difference between the U.S.A. and Japan was food I had some food that was for the first time for me to eat. But they were delicious.

The best memory is to watch a movie with my host family at night. It was the movie that I had wanted to watch. It was surprising and exciting for me to be able to watch it. The twelve days were very special days for me.

Tsubame Secondary School 3年 Yukako Okada

I'm going to tell you about my homestay. My host family was cheerful and kind. I had a good time with them. I had a lot of experiences in my homestay life. WE watched movies and went shopping together, too. I enjoyed with them.

My best memory is to play a dance game with my host family. We played it after dinner. They danced very well. We had some ice cream after the game. It was sweet and good. I felt very sleepy after I ate it. It was around 11:00 p.m. Alice and I said good night to them and went to bed. The night was a very wonderful time. I will never forget the homestay.

Tsubame Secondary School 3年 Suzuka Kawakami

I made two goals in my trip. The first one was to say my opinions actively in the English lessons. But I was not able to express myself well. Because the teachers spoke too fast in the lessons. It was very difficult to follow them. But I thought it was a good opportunity to let myself to go on to the next stage.

The second one is to grow in knowledge of foreign countries. My host family is from India. They taught me a lot about their country and the U.S.A. For example, they told me about the cities in California, Indian curry, saris, and so on.

I found fun and difficulties of English when I spoke English. The feeling that I want to make my dream come true became stronger. It is my treasure that I met the people in California. I hope I can speak English better when I visit a foreign country again. I need to learn English harder. I thank all the people who helped me to visit the U.S.A. as an ambassador of goodwill.

Tsubame Secondary School 3年 Rikako Sato

I was very impressed with the happy circle of my host family in the U.S.A. I hardly had such a time in Japan because I was too busy doing my homework and practices. I talked with my host family after dinner every night. For example, we talked about what we did on the day, what we learned at school, our friends, and so on. We not only talked about ourselves but shared some information. I felt I could have such a happy time in Japan.

I was not able to speak with them fluently enough, but they took care of me and tried to understand my English. They used gestures and guessing when I didn't express myself well. The conversations with them had been changing into something interesting from something difficult.

Thanks to the conversations, I could study a lot in the lessons. I was glad to have a wonderful host family. I won't forget the places, games, food, conversations, and so on. They had me find the importance of communication, interest of English, and kindness of people. I also found my future dream. I realized that I liked to study English. I will remember the appreciation to them and work hard to make my dream come true.

Tsubame Secondary School 3年　Satoe Moriyama

I made two aims to take part in the trip. One of them was to bring my tension under control. The second one was to communicate with my host family. I decided to keep them in my mind to spend my life in the U.S.A. I think I almost reach the goal of the first aim. But I sometimes could not speak clearly. I was not able to achieve the end of the second aim. I didn't talk a lot because my vocabulary was not rich enough to talk with the people. I want to learn more vocabularies to improve my English.

The best memory is that I stayed with my host family. I look into the dictionary to talk with them a lot. I was glad that they understood me. They accepted me as a member of them. I am grateful to my host family. I will study hard to visit foreign countries again.

Niigata Daiichi Junior High School 2年　Yuka Tanabe

My best memory is to spend the time with my host family. My host mother helped me with my homework. I had just one time to enjoy playing football with my host students, Ethan and Sophia. I liked the dinner time with them a lot. We chatted each other about our daily lives. My host father made dinner almost every night. My favorite food was tacos made by him.

*Presidio Middle School

The second good memory is to take English lessons. We sand "God Bless America" every time before we began studying We learned the differences between the U.S.A. and Japan. The impressive lesson was about the birth of the U.S.A. I learned it a little in my lesson in Japan. But I didn't learn about the Stars and Stripes then. The number of the stars mean the number of the states. The color, red, means courage, white is truth, and blue means justice. I took good English lessons for ten days.

燕市国際交流事業参加者アンケート　集計結果

派遣先	学年	性別
アメリカ合衆国　サンフランシスコ	中学１年生１人 中学２年生７人 中学３年生４人	男　　１人 女　１１人

Ｑ１　海外派遣はどうでしたか？

①良かった　１２人　②まあまあ良かった　０人　③あまり良くなかった　０人　④悪かった　０人

●その理由は？ (具体的に)	• アメリカの文化を実際に体験することができたからです。 • 英語のレッスンや観光など、とても充実して楽しかったからです。 • とっても充実した１２日間で、楽しく学ぶことができたからです。 • ホストファミリーがとても親切だったし、たくさん観光や訪問ができたので良かったです。 • とても充実していて、まさに「百聞は一見にしかず。」だと思いました。 • ホストファミリーはとても優しく、丁寧に説明してくれました。サンフランシスコの観光も楽しかったです。 • 自分の世界観や視野が本当に広がりました。中学校３年間で、最も良い経験ができたと思います。 • ホストファミリーがとても親切にしてくれました。ペタルマは良い所でした。 • 体調が悪かったにもかかわらず、休ませてくれたり気遣ってくれたりして、ファミリーの温かさを感じることができました。 • 英語レッスンは私に合っていて分かりやすく、アメリカについても学習することができたので良かったです。 • 相手のホストファミリーが家族の一人として接してくれたからです。自分の英語力がどのくらいかを、確かめることもできました。 • 本当にたくさんの素晴らしい体験ができたからです。ホストファミリーとも仲良くなれたし、英語もたくさん使うことができました。

Ｑ２　日程はどうでしたか？

①きつかった　０人　②ややきつかった　４人　③やや楽だった　６人　④楽だった　２人

●体調や精神面で特につらいと感じたときはありましたか？あれば具体的に書いてください。(飛行機、英語、食事、日程など)	• 食文化が違い、脂っぽいものが多かったです。 • 語彙力がなく、自分の考えや気持ちを伝えきれなかったときです。 • 時差ボケがなかなか抜けなかったことです。 • 移動時間が短いときがありました。 • ホストファミリーの都合で、休日の朝食が 11:30 だったことです。 • 野菜をあまりたくさん食べることができませんでした。 • 帰りの新幹線の時刻がとても遅かったことです。 • 飛行機では騒音で眠れませんでした。 • バス酔いがひどかったことです。 • 帰りの空港で荷物を持って走ったことがつらかったです。 • 買い物で、店員さんに英語が通じないときがつらかったです。 • 日本食を食べたくなったときです。

Ｑ３　期間はどうでしたか？

①長かった　０人　②やや長かった　１人　③ちょうど良い　３人　④やや短かった　５人
⑤短かった　３人

Ｑ４　海外派遣の中で、良かった場所や活動は何ですか？「特に良かった」ことを◎に１つ、「良かった」ことを○に４つ以内で記入してください。また、「良くなかった」ことがあれば、△に３つ以内で記入してください。

◎
- 観光（２人）
- ピア３９（２人）
- ホストファミリーとの休日
- ホームステイ
- ゴールデンゲートブリッジ
- お別れパーティー（２人）
- 英会話のレッスン
- フィッシャーマンズワーフ
- サンフランシスコのケーブルカー

○
- サンフランシスコの公立中学校訪問（５人）
- 英語のレッスン（５人）
- フィッシャーマンズワーフ（３人）
- 老人ホーム訪問（２人）
- 観光（２人）
- ホームステイ
- お別れパーティー
- 現地で食べたクラムチャウダー
- サンフランシスコのチョコレートファクトリー
- 買物（５人）
- 幼稚園訪問（４人）
- ゴールデンゲートブリッジ（３人）
- 食事（２人）
- 在サンフランシスコ日本国総領事館訪問(2人)
- ツインピークス
- ペタルマ市内
- サンフランシスコのケーブルカー

△
- 現地の若い人たちと訪問した教会でのミーティング（３人）
- 英語のレッスン
- シャワー
- 老人ホーム訪問
- 食事
- 石けんがあまりなかったこと
- サンフランシスコのホテル

Ｑ５　ホームステイの期間はどうでしたか？

①やや長かった　１人　②ちょうど良い　３人　③やや短かった　５人　④短かった　３人

Ｑ６　ホームステイで良かったことを書いてください。また、困ったことがあれば、具体的に書いてください。また、困ったことを解決するために自分がしたり、事前に準備したりしておくべきことを具体的に書いてください。

①良かったことは？	• 最小限の会話だったけれど、通じてコミュニケーションがとれたことです。 • 英語で外国の人と話したり過ごしたりすることで少し自信をもつことができたり、いろいろな体験ができたりしたことです。 • ホストファミリーと仲良くなれたことです。 • いろいろな所へ連れて行ってもらったことです。（２人） • ホストファミリーのご飯がおいしかったことです。 • ホストファミリーが送迎をしっかりしてくれたことです。 • 本場で英語を勉強することができたことです。 • みんなが優しくしてくれたことです。いつも笑顔で、面白い話をしてくれて楽しかったです。 • 週末のホストファミリーとの活動が多く、とても仲良くなれたことです。 • つたない英語を一生懸命理解してくれたことです。 • 体調が悪いとき、休ませてくれたりスープを作ってくれたりしてくれたことです。 • 宿題を手伝ってもらったり、PR 活動の練習を手伝ってもらったりしたことです。 • 家族全員が温かく受け入れてくれたことです。
②困ったことは？	• 伝えたいことを伝えられなかったことです。 • 食文化の違いです。 • 時差ぼけがなかなか抜けなかったことです。 • 家族の就寝時間が遅いことです。 • 野菜をあまり食べられなかったことです。（２人） • お願いすることを上手に伝えられなかったことです。 • 相手の話していることが分からないときがあったことです。 • 洗濯の回数が少なかったことです。
③自分のしたことや事前の準備は？	• 英会話の練習のために文を覚えたり、リスニングで聞き取れるようにしたりしました。 • ホストファミリーと話したいことを、いくつか準備しておきました。（2人） • 日本語を教えました。（２人） • お土産の説明をしました。 • ホストマザーのお手伝いをしました。 • 簡単な英会話を練習しました。 • アメリカの文化（特にマナー）について調べました。 • 自分の家族について写真を見せて紹介しました。 • 何事も経験だと思い、慣れるように心がけました。 • エチケットの言である “please” や “excuse me” などを言うようにしました。 • 辞書を使ったり、ジェスチャーで伝えたりしました。 • コミュニケーションをとるために、写真を用意しました。 • 洗濯の回数が少ないので、着替えやタオルを少し多めに持って行きました。

Ｑ７　海外派遣で、とまどったことや不安に思ったこと、疑問に感じたことなどがあれば、具体的に書いてください。

- シャワーだけだったので、風邪をひかないのかと少し気になりました。
- ホストマザーが「疲れた」と言うときに、なかなかお願いを言いにくかったです。
- コミュニケーションのとりかたが難しかったです。
- 人が多く、街に出かけたりして少し不安を感じました。
- 宗教的な違いに最初は戸惑いました。
- お店で注文するときに、メニューが読めずに困りました。

Ｑ８　海外派遣について意見や感想、要望などがあれば自由に書いてください。

- 自由時間をもう少し長くしてほしかったです。
- もう少し移動時間に余裕があると良かったです。
- 現地の中学校で授業を受けてみたかったです。

- 春休みに行くようにして、学校の授業に遅れないようにしてほしいです。
- 英語のレッスンは楽しかったが、現地の子どもたちとも一緒に勉強したかったです。
- もっと燕市の PR 活動をできる所へ行きたかったです。
- 滞在期間の短さを実感しました。ホストファミリーの皆さんは本当に優しくしてくれたので、自分は恵まれていると思いました。
- とても充実した１２日間でした。自分の夢を見付けることができました。
- このような貴重な体験ができて良かったです。
- 帰りの空港で、もう少しゆとりがほしかった。
- 派遣の対象を中学２年生までにしてほしいです。または、どの中学校でも３年生にチャンスがあることが公平だと思います。

Q９　ホストファミリーのお土産として、何を持っていきましたか。具体的に書いてください。

- 燕市で作られたカトラリーやエコカップ
- 紙風船
- ストラップ、キーホルダー
- 日本の文化をまとめたノート
- 和風レターセット
- かっぽう着、エプロン
- 和風柄のシール
- 食べ物や飲み物の形をした消しゴム
- 五円玉硬貨
- 日本画のファイル
- 漢字入りシューズ入れ
- 筆ペン
- 万華鏡
- 折り紙
- おはじき
- 箸、箸置き
- 文房具
- 和風のアクセサリー
- けん玉
- クリップ
- 和風柄のブックケース
- 扇子
- お雛さま
- こま
- キャラクターグッズ
- 小銭入れ
- 茶道の道具
- 風呂敷、手ぬぐい
- ティッシュ
- 巾着、和風のポーチ

Q１０　文化紹介や燕市の PR 活動のために、事前に準備しておいた方が良いことを具体的に書いてください

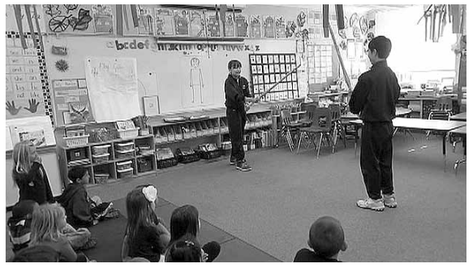
- ステンレス製品を持って行くと、燕市の話で盛り上がり、良さをたくさん話すことができます。
- PR 活動の司会をするときには、だれが発表するか確認したほうが良いです。
- 燕市のことや日本の文化を、レッスン以外でも自主的に勉強しておいてください。
- 発表原稿をスラスラ読めるように、何度も練習してください。（２人）
- 意味の分からない単語を調べて、発音やアクセントを正しく覚えてください。
- 日本の歌を歌えるようにしておくと良いです。
- 大きな声でハキハキ話せるようにしておくと良いです。
- 大きな声を出す必要があるので、体調管理に気を付けてください。

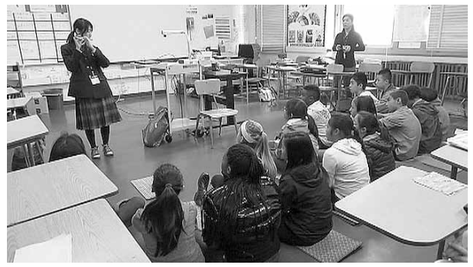
Q１１　現地での英語のレッスンに備えて、事前に準備しておいた方が良いことを具体的に書いてください。

- リスニングは必要だと思いました。
- ネイティブな発音にもっと慣れていれば、もう少し聞きとれたと思うので、話せるようになる前に、しっかり聞きとれるようになった方が良いと思います。
- 電子辞書は必携です。音声付きだと、なお便利だと思います。（２人）
- アイコンタクトをしっかりしましょう。
- とにかくたくさんの単語や英文を覚えてください。（２人）

- なるべくいろいろな状況での適切な英文などを練習してください。
- 自分から話すことを意識してください。
- キリスト教についても、少し勉強した方が良いと思いました。（２人）
- 相手の話が分からないときでも、“I don’t know.” で終わらせずに、もう一言を付け加えて、自分の理解したことを伝えるようにすると良いと思います。
- 日にちや天気などを、毎日英語で言えるようにすると良いと思います。

ペタルマ市内の老人ホームで華道を披露


ペタルマ市内の幼稚園で剣道を披露


サンフランシスコ市内の中学校で篠笛を披露

ペタルマ市内の幼稚園で三味線を披露

お別れパーティーでお世話になった人たちと記念写真

Jack&Bettyプロジェクト海外派遣事業

期待と不安、行ってよかったサンフランシスコ！

平成25年度から始まったJack&Bettyプロジェクト。そのファイナルステージである英語スピーチコンテストが昨年12月21日に開催され、成績優秀者に選ばれた中学生12人が親善大使として、アメリカ合衆国のサンフランシスコに派遣されました。親善大使は、2月22日～3月5日までの12日間、ホームステイをしながらアメリカの生活を体験する中で、現地の人々と交流し燕市をPRするとともに、語学研修なども行い、大きく成長して帰ってきました。

私は、たくさんの人の温かさにふれ合う事が出来ました。ホストファミリーや子供達は明るくフレンドリーでした。言葉は違っても、人に対する優しさは変わらないと感じました。
高桑美帆(燕中学校２年) 写真2

私は、今回初めて海外に滞在して、言葉が伝わらないことや、文化の違いに驚きました。貴重な体験をもとに、もっと英語を勉強して、世界に飛び出して行きたいです。
中山友梨子（燕中学校２年） 写真3

今回の海外派遣での思い出は、ホストファミリーとキャンディーショップに行ったり、たくさんの所に行ったことです。私は、ホストファミリーと一緒に過ごせてとても幸せでした。
小杉ありす(分水中学校１年) 写真6

僕は、アメリカでの人と人とのつながりが日本と比べて深いように感じました。僕もその輪の中に入ることができて、とても楽しい日々でした。一生の思い出になりました。
小林峻也（吉田中学校２年） 写真5

今回の旅で印象に残ったことは、おやつの違いです。日本では、おやつにチョコやおせんべいを食べます。しかし、アメリカでは食事のようなおやつやフルーツを食べました。
玉橋利沙（燕中等教育学校２年） 写真8

私がこの海外派遣で一番印象に残っていることは、現地の方々の温かさです。文化の違いはありながらも、初めての海外での生活が最高の思い出となりました。
森山怜恵（燕中等教育学校３年） 写真12

12

13

14

15

16

17

12 ホストファミリーのお母さんと子どもと一緒に教会で／13 ホストファミリーと休日に訪れたワイナリーで／14 語学研修の様子／15･16 地元の幼稚園で日本の遊びや剣道を紹介／17 サンフランシスコ市内の中学校で燕市の紹介

サンフランシスコ

アメリカ合衆国カリフォルニア州にあるアメリカ西海岸を代表する大都市。人口は約80万人。燕市とほぼ同じ緯度であるが、地中海性気候のため、一年を通して温暖な気候に恵まれている。海に囲まれた街は自然と都会が融合し、学問やファッションなどさまざまな文化の発信地としても世界的に注目を浴びている。

San Francisco

1

2

3

1 在サンフランシスコ日本国総領事館にて／2 ハイウェイパトロールをしているホストファザーと。手錠が…！／3 サンフランシスコ市内の最も有名な坂道／4 ホストファミリーと一緒に／5 お別れパーティーでアメリカの友達と一緒に／6 ホストファミリーのタヤさんと、同じ家にステイした岡田さんとキャンディーショップに行ったとき／7 ホストファザーのハイウェイパトロールのバイクに乗せてもらったとき／8 ホストファミリーと一緒に／9 ホストファミリーとフィッシャーマンズワーフにて／10 ホストファミリーとその息子さんの友達と／11 ホストブラザーの友達と夕食

4

5

6

一番印象に残ったことは、ホストファミリーが私のつたない英語を一生懸命理解しようとしてくれたことです。互いの話がだんだん分かるようになり、嬉しかったです。
堀朋実（吉田中学校２年） 写真4

7

8

私がこの派遣を通して一番印象に残ったことは、ホストファミリーの優しさです。体調が悪いときに、たくさん助けていただきました。アメリカの皆さんの温かさを感じました。
落合遥香（燕中等教育学校２年） 写真7

9

私の海外派遣での思い出は、ホストファミリーといろいろな場所へ行ったことです。お買い物をしたり、観光をしたり、映画を観たりと、とても楽しかったです。
岡田祐可子(燕中等教育学校３年) 写真9

出会いは一瞬。出逢えば一生。燕市親善大使を通して出会えた12名、現地で出会った人々。何十億人という世界の中で彼らと出逢えたことは、私の宝物になりました。
河上鈴華（燕中等教育学校３年） 写真10

10

11

たくさんの素敵な出会いができ、サンフランシスコが大好きになりました。この経験や感謝を忘れず、今回見つけた夢に向かって、頑張っていきたいです。
佐藤里佳子（燕中等教育学校３年） 写真11

最終日のピザパーティが一番の思い出です。ホストファミリーとたくさん写真を撮り、手紙を送りました。ホストファミリーが喜んでくれてうれしかったです。
田邊由佳（新潟第一中学校２年） 写真13

▼お別れパーティーでの集合写真

【Jack&Bettyプロジェクト】サンフランシスコ随行職員のコメント

●燕市教育委員会 学校教育課 指導主事 有本千晴

今回のJack & Bettyプロジェクトの海外派遣事業は、私にとっても素晴らしい経験でした。在サンフランシスコ日本国総領事館との交渉や、ＰＲ活動の会場での活動内容の確認など、新しい経験がたくさんありました。

合計で３回行った文化紹介では、限られた環境やスペースでも、見てくれている人たちに分かってもらおうと、精一杯の活動をしてくれました。燕市のＰＲ活動では、親善大使の皆さんが回数を重ねるたびに英語を上手に話すことができるようになり、成長の早さを実感しました。自分の役割を果たそうと、臨機応変に対応してくれた親善大使の皆さんには、本当に感謝しています。

今回の海外での生活は、皆さんにとって将来を考える機会でもありました。「将来は海外で働きたい」「もっと外国のことを知りたい」など、海外派遣を通じて夢や希望をもつことができたことは、海外派遣の成果のひとつです。

また、お別れ会で皆さんが流した涙は、「来て良かった」「素晴らしい経験だった」という気持ちだったからだと思います。一生続けたいと思える絆を見付けられたことも、今回の海外派遣が得がたい経験であったことを意味しています。

今後も英語の勉強を続けて、将来に役立ててください。皆さんが今回の経験を生かして、燕市の未来を担うリーダーとして活躍することを期待しています。

●燕市教育委員会 学校教育課 主査 田邉佳代子

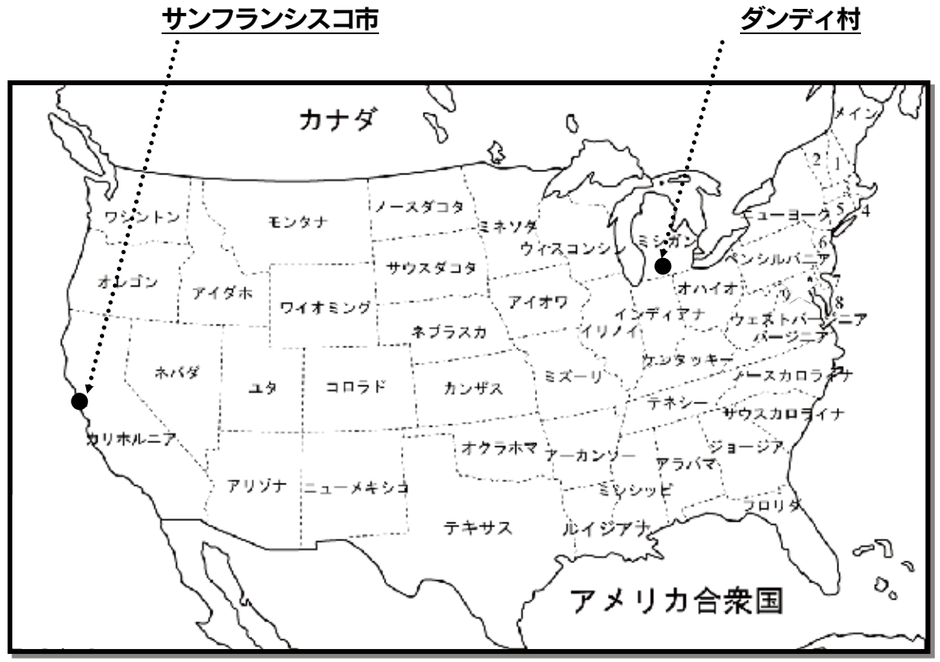
１２人の親善大使とは準備の段階から関わらせていただきました。親善大使の皆さんは、第一回英語スピーチコンテストにより選ばれたとはいえ、教育指導主事による英語レッスンやボリュームのある英語のプレゼンテーション準備を良くこなしていたと思います。プレゼンでは難しい英単語も多かったのですが、アクセントや発音の指導を真剣に受け、何度も何度も確認しながら一生懸命、前向きに取り組む姿に心を打たれました。

アメリカの人たちとの出逢いとふれあいの中で、文化の違いに驚き、生活習慣の違いに戸惑い、言葉の違いを再認識して、学んで学んで学ぶ毎日。それらの違いを受け入れたり乗り越えたりして、帰国する頃には、ひとまわりもふたまわりも成長した親善大使の皆さん。この時期に経験した貴重な体験やたくさんの人たちとの出逢いを、進路やこれからの人生の中で役立てていかれることと思います。

夢を見つけた皆さんが、将来、のびのびと成長し、国際的に活躍するのを見守るのが楽しみになりました。この出逢いと恵まれた機会に感謝いたします。

Sonoma City Hall

★海外派遣事業派遣先
・アメリカ合衆国ミシガン州ダンディ村（姉妹都市）
・アメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコ市



米国ダイヤモンド電気株式会社にて（ダンディ）

ゴールデンゲートブリッジ前にて（サンフランシスコ）

発行／新潟県燕市　　企画・編集／燕市教育委員会 学校教育課